

教育実習の現状と課題(2)

——教育実習生と本校教官のアンケート調査より——

総務部 石井朋子

茶圓幸子

木村政子

(1) はじめに

本お茶の水女子大学は、現在いわゆる非教員養成系大学である。しかし、前身が女子高等師範学校であり、女子学生の就職口の一つとして、教職は現在も開かれた1つの大きな分野であることから、幼・小・中・高の教員免許状が取得できる課程が用意されており、取得希望者は全学生の約4割に及んでいる。これらの学生の教育実習の大部分が幼・小・中・高の附属四校園で行われている。附属高校でも、年間100名前後の中学校・高等学校教員免許状取得希望の学生に対し、教職課程の事前指導・教育実習・事後指導を行っている。さらに、国語科・地歴科・英語科・数学科・理科・家庭科では、教科教育法も現在附属高校教官が担当して行っており、国立大学の附属高校の使命を大学と連携しつつ果たしているところである。

義務教育教員免許状取得には、平成12年度からは介護実習が、平成15年度からは実習の単位数が2単位から4単位に倍増となり、附属高校でもⅠ期・Ⅱ期それぞれ2週間の延べ4週間の実習を、それぞれ3週間の延べ6週間に延長して行うことを決定している。指導を受ける学生・指導する教官・仲立ちをする学務事務、それぞれの負担が大きくなりつつあるのが実状である。

これらの現状をふまえ、大学・学務事務・附属高校の充分な連携のもとに、効率よく、内容の充実した指導を行える体制のさらなる強化が必要である。

平成9年に教育実習生・附属高校教官の意識調査を行い、教育実習全般について検討が行われた。

(注1：お茶の水女子大学附属高等学校研究紀要43号 教育実習の現状と課題(1997)) その時点から4年が経過し、上述のような状況の変化もあったことから、4年前とほぼ同様の調査を行い、教育実習全般の現状にあった改善の資料としたい。

(2) 教育実習生受け入れ状況

前回の報告(平成元年～平成10年)以降、平成11年から平成13年までの教育実習生の受け入れ状況を表1にまとめた。また、本校では家庭科専任教官が1名のみなので、生活科学部の教員免許状取得希望

者のごく一部しか実習に受け入れられず、出身校・協力校で実習を行う学生が多数いる。これらの学生の指導については、3年次の秋に3～4回に分けて事前指導を、4年次実習終了後に事後指導を附属高校で行っている。また、ごくわずかであるが、他学部でも出身校・協力校で実習をする学生があり、これらについても事前・事後指導のみを行っている。これらの受け入れ状況を表2にまとめた。

表1 附属高等学校 実習生受け入れ状況

		国語	地歴	公民	保体	音楽	英語	数学	理科	家庭	合計
平成11年度	I期	4	5	3	1		4	6	8	4	35
	II期	4	6	1	4	2	5	6	8	4	40
	合計	8	11	4	5	2	9	12	16	8	75
平成12年度	I期	3	6	3	2	2		5	8	3	32
	II期	6	7	2	1	2	6	6	8	4	42
	合計	9	13	5	3	4	6	11	16	7	74
平成13年度	I期	5	2	1	3	2	1	5	9	3	31
	II期	6	4		3	2	5	4	6	4	34
	合計	11	6	1	6	4	6	9	15	7	65

表2 附属高等学校 事前・事後指導受け入れ状況

	国語	地歴	公民	保体	音楽	英語	数学	理科	家庭	合計
平成11年度		3				1	3		33	40
平成12年度							2	8	17	27
平成13年度					2				24	26

(3) アンケート調査の内容

1 教育実習生用

事前指導・教育実習・事後指導について（実習生用）

I 事前指導について

I-1 事前指導の時期（6月）について

- ① 良い ② 悪い ③ その他

理由

I-2 事前指導の勤務形態は

- | | | | | | |
|---|---|---|----|----|-----------|
| ① | 月 | 日 | 1日 | 半日 | <u>時間</u> |
| ② | 月 | 日 | 1日 | 半日 | <u>時間</u> |
| ③ | 月 | 日 | 1日 | 半日 | <u>時間</u> |
| ④ | 月 | 日 | 1日 | 半日 | <u>時間</u> |
| ⑤ | 月 | 日 | 1日 | 半日 | <u>時間</u> |
| ⑥ | 月 | 日 | 1日 | 半日 | <u>時間</u> |

I-3 I-2の勤務の形態の決め方は

- ① 教官の提案 ② 実習生の希望 ③ 教官と実習生の話し合い
④ その他（具体的に）

I-4 I-2の勤務形態について

- ① 良い ② 悪い ③ その他

理由

I-5 事前指導の期間（2日間—16時間分）について

- ① ちょうど良い ② 短い ③ 長い ④ その他

理由

I-6 事前指導の内容について

- ① 役に立った内容とその理由
② 役に立たなかった内容とその理由
③ あった方が良い内容とその理由

II 教育実習について 実習担当時間（　　）時間

II-1 担当した授業時間数について

- ① 適切 ② やや多い ③ やや不足 ④ その他

理由

II-2 教育実習の時期について

- ① 良い ② 悪い ③ その他

理由

II-3 勤務時間について

- ① 適切 ② 悪い ③ その他

理由

II-4 勤務について印象に残ることや希望

II-5 実習前のイメージと現実

II-6 教育実習はどうあるべきか・来年の実習生に一言

III 事後指導について

III-1 事後指導の時期について

- ① 良い
- ② 悪い
- ③ その他

理由

III-2 事後指導の勤務形態は

- ① 1日単位で勤務
- ② 半日単位で分割して勤務
- ③ 時間単位で分割
- ④ その他（具体的に）

III-3 III-2 の勤務の形態の決め方は

- ① 教官の提案
- ② 実習生の希望
- ③ 教官と実習生の話し合い
- ④ その他（具体的に）

III-4 III-2 の勤務形態について

- ① 良い
- ② 悪い
- ③ その他

理由

III-5 事後指導の勤務（1日—8時間）について

- ① ちょうど良い
- ② 短い
- ③ 長い
- ④ その他

理由

III-6 事後指導の内容について

- ① 役に立った内容とその理由
- ② 役に立たなかった内容とその理由
- ③ あった方が良い内容とその理由

IV まとめ

IV-1 事前指導・教育実習・事後指導の全体としてのまとめについて

IV-2 その他 特に印象に残ったこと・意見・感想などなんでもどうぞ

2 教官用

事前指導・教育実習・事後指導について（教官用）

I 事前指導について

I-1 事前指導の時期（6月）について

- ① 良い ② 悪い ③ その他

理由

I-2 事前指導の勤務形態は

①	月	日	1日	半日	<u>時間</u>
②	月	日	1日	半日	<u>時間</u>
③	月	日	1日	半日	<u>時間</u>
④	月	日	1日	半日	<u>時間</u>
⑤	月	日	1日	半日	<u>時間</u>
⑥	月	日	1日	半日	<u>時間</u>

I-3 I-2 の勤務の形態の決め方は

- ① 教官の提案 ② 実習生の希望 ③ 教官と実習生の話し合い
④ その他（具体的に）

I-4 I-2 の勤務形態について

- ① 良い ② 悪い ③ その他

理由

I-5 I-2 の勤務形態は今年度から、半日単位から時間単位でも良いことにしましたが、この方法について

- ① 良い ② 悪い ③ その他

理由

I-6 事前指導の期間（2日間—16時間分）について

- ① ちょうど良い ② 短い ③ 長い ④ その他

理由

I-7 事前指導で行った内容は

II 事後指導について

II-1 事後指導の時期について

- ① 良い ② 悪い ③ その他

理由

II-2 事後指導の勤務形態は

- ① 1日単位で勤務 ② 半日単位で分割して勤務
③ 時間単位で分割 i 時間 ii 時間 iii 時間 iv 時間
④ その他（具体的に）

II-3 II-2 の勤務の形態の決め方は

- ① 教官の提案
- ② 実習生の希望
- ③ 教官と実習生の話し合い
- ④ その他（具体的に）

II-4 II-2 の勤務形態について

- ① 良い
- ② 悪い
- ③ その他

理由

II-5 II-2 の勤務形態は今年度から、半日単位から時間単位でも良いことにしましたが、この方法について

- ① 良い
- ② 悪い
- ③ その他

理由

II-6 事後指導の勤務（1日—8時間）について

- ① ちょうど良い
- ② 短い
- ③ 長い
- ④ その他

理由

II-7 事後指導の内容は

III 教育実習全体についてご意見があれば

(4) アンケート調査集計結果（実習生）

2001年7月・10月実施 回答総数 I期 32 II期 32

I 事前指導について

I-1 指導の時期（6月）について

I期	良い	悪い	その他	無記入	計
国語	4	1			5
社会	3		1		4
英語	1				1
音楽	2				2
保育	1		2		3
数学	3	2			5
理科	7	2			9
家庭科	2			1	3
計	23	5	3	1	32

II期	良い	悪い	その他	無記入	計
国語	4		2		6
社会	4				4
英語	4				4
音楽	2				2
保育		2	1		3
数学	1	1	2		4
理科	4	2			6
家庭科	2		1		3
計	21	5	6	0	32

① 良い

【I期】

- ・前もって大学での説明や担当教科の教官との打ち合わせもあったので、特に問題はなかった。(保体 I)
- ・実習を意識するのにちょうど良い頃であると思われる。(国語 I)
- ・実習のちょうど 1 ヶ月前なので、私たちの心の準備としても、学校、クラスに慣れ始めた生徒さんたちの様子を観察する時期としても、ちょうど良かったです。(国語 I)
- ・7 月の実習生にとっては、実習時に近い状態のクラスを見学できるから。(国語 I)
- ・特になし。進学希望の私にとっては、他の時期でもあまり変わらないから。(国語 I)
- ・指導案を仕上げるのに、十分な時間をもてたから。(世 I)
- ・あまり直前すぎると不安だから、一ヶ月前位がちょうど良い。(数学 I)
- ・ちょうど良い。(数学 I)
- ・受けてから指導案を考える時間もあり良かったと思う。(数学 I)
- ・7 月の教育実習直前に見られたから。(記憶も鮮明なうちに実習に入れる)(英語 I)
- ・実習と適度に近いから。(音楽 I)
- ・実習と離れた時期にやるよりはこのくらいの時期の方が実習につながりやすい。(音楽 I)
- ・心構えができる時期なのでよいと思います。(物理 I)
- ・実習との間があまりなかったのでそのままモチベーションを維持できたから。(化学 I)
- ・教育実習期間が 7 月であったため、教育実習の準備期間としてはよい時期だったと思います。(化学 I)
- ・就職活動も終盤にあたるので、よいと思いました。(地学 I)
- ・実習の比較的目前にあるから。(家庭 I)
- ・教育実習の少し前で準備もできるから。(家庭 I)
- ・遅くも早くもなく先生のお話が聞けたから。(家庭 II)

【II期】

- ・なるべく実習の直前が良いと思うから。(国語 II)
- ・実際の実習までに準備が十分できるから。(国語 II)
- ・大学の授業以外は比較的時間に余裕のある時期だったので。(国語 II)
- ・II 期の立場からすると少し早い気がするが、早くから教師の視点を持つための良い機会になったと思う。(国語 II)
- ・自分の実習よりだいぶ前にあって、準備期間が長いから。(世 II)
- ・実習の前にあり、次第に実習に対する緊張感が高まってくるので。(英語 II)
- ・試験に重ならず、大学の授業との兼ね合いも良かった。また、実習に入る前に実習について考える

機会を得たことはとても良かった。授業を参観させて頂いたことも勉強になった。(英語II)

- ・早い時期から教育実習の心構えが出来て良かった。(英語II)
- ・II期の実習まで準備期間が十分だった。(英語II)
- ・実習までに少し時間があったから。(音楽II)
- ・I期にもII期にも良い時期だと思う。それより早いと忘れてしまったり意識がかけてしまったりすると思われるし、またII期にしても院試があつたりするので少し早いが適切だと思う。(物理II)
- ・I.II期合同で行うには適した時期だと思う。(化学II)
- ・I.II期ともにできる。時期的に丁度いいと思う。(化学II)

② 悪い

【I期】

- ・もう少し早い時期のほうが、心の準備や教材研究に時間がかけられるので、I期の人間にとってはありがたかったです。(国語I)
- ・少し時期が早くて実習のことがまだ頭になくて、何を中心に参観すればよいのかよくわからなかつた。(数学I)
- ・時期が早すぎる。(数学I)
- ・事前指導・教育実習ともにもっと早い時期に行って欲しい。(生物I)
- ・教育実習・事前指導ともにもっと前にしてほしい(5・6月頃→院試があるので)(生物I)

【II期】

- ・実習期間が9月中なのに、6月では早すぎて、間で気持ちがたるんでしまう。I期とII期は別々のほうがよいのでは…? (保体II)
- ・II期が始まるまでかなり時間があきすぎる。(保体II)
- ・II期は実習が9月なので早すぎると思った。(数学II)
- ・丁度実験のため外せない時期だったから。(生物II)
- ・前期の実習生と後期の実習生で分けるべき。後期は直前まで用意が出来ず、大変だったところもあったようだ。(物理II)

③ その他

【I期】

- ・大学の授業を休まなければならぬが、好きに見られるという点では良かったと思う。(保体I)
- ・実習の1ヶ月ほども前に行うので、いくらか離れすぎているようにも思うから。しかしこれから授業案等を書いていくには余裕を持たせたほうがいいのだろう。(保体I)
- ・6月という時期はよいが、1ヶ月のうち1週間に1度ずつ、というように継続的に行ってもよいのではないかと思う。(日I)

【II期】

- ・後期の私たちには早すぎて実感がわからなかったため。(保体II)
- ・II期の人間にとっては忘れてしまった頃なので、あまり良くないが、学校からすればII期の事前指導を9月にやった後に実習という形は時間的に無理だと思うので、仕方ないと思う。(国語II)
- ・どちらとも言えない。私はII期だったので間があいてしまったが、I期と一緒にやるなら6月が一番良いと思う。(国語II)
- ・II期の人には早いのではないか。(数学II)
- ・1ヶ月前(I期にとって)、3ヶ月前(II期にとって)の事前指導。どちらも良い点と悪い点がある。(家庭II)

I—4 2の勤務形態について

I期	良 い	悪 い	その他の	計
国語	4	1		5
社会	4			4
英語	1			1
音楽	2			2
保体		1	2	3
数学	4		1	5
理科	6	2	1	9
家庭科	3			3
計	24	4	4	32

II期	良 い	悪 い	その他の	計
国語	6			6
社会	4			4
英語	4			4
音楽	1		1	2
保体	3			3
数学	3	1		4
理科	3	1	2	6
家庭科	2	1		3
計	26	3	3	32

① 良い

【I期】

- ・好きなように取ることができたから。(国語I)
- ・自由に時間帯を選ぶことができて良かったです。(国語I)
- ・1クラスの授業を継ぎで見ることができたので、授業の流れがわかったから。(国語I)
- ・ゼミなどの都合に合わせられるから。(国語I)
- ・いろいろな曜日を少しづつ見ることができ、雰囲気の違いを見ることができたから。(世I)
- ・実習生が多い科目は教官が決めちゃってあとはある程度従ってもらわないと決まらないのでは。
(数学I)
- ・半日を4日間とかになるよりはよい。(数学I)
- ・英語の授業がたくさんある時でよく観察できたので。(英語I)

- ・参観する授業があるかどうか事前にはよく分からなかったため。(音楽I)
- ・2日間で終わらせることが出来たから。(音楽I)
- ・何でもいいです。(物理I)
- ・拘束時間が短くて時間を上手く使えたから。(化学I)
- ・先生の面白い提案だったので。(地学I)
- ・家庭一般の授業がたくさんあって参観でき、時間が有効につかえたから。(家庭I)
- ・家庭科は曜日ですごく偏りがあるので半日ずつ、1コマずつ分ける必要がない。(家庭I)
- ・まとめて行ったほうが効率が良い。(家庭I)

【II期】

- ・長々と日数をかけずに終わったのはよかったです。1日を通して学校の様子がわかった。(保育II)
- ・自分で考える時間が充分あった。(保育II)
- ・長い時間あり、続きの授業が見られて良かった。(国語II)
- ・期間が長めだったので、日を選べて良かったから。見たい授業が見られた。(国語II)
- ・大学の授業等の関係で、都合の良い日を選ぶことができたから。(国語II)
- ・授業を2、3回続けて参観できたので。2週間ぐらい幅があると良かった。(国語II)
- ・半日勤務などができる、大学に授業に出られるから。(国語II)
- ・実習生に選択権があるのは大変良かったが、「4日のうちから」というのでは期間が短すぎ、実習を担当するクラスの授業を1時間しか参観できなかった。1つの単元をはじめから終わりまで一通り見ることができれば大変参考になると感じたが。(国語II)
- ・日にちが分散されているので、負担が少ない。(世II)
- ・参観、採点など様々なことをやったので楽しかった。(数学II)
- ・自分の行きたい時に行けたので良かった。(英語II)
- ・授業を参観させて頂くことで実習への心構えが出来た。(英語II)
- ・自分の希望する授業へ行けて良かった。(英語II)
- ・無駄無く多くの授業を参観できた。(英語II)
- ・悩まなくてよい。早めに分かっていたので良かった。(物理II)
- ・大人数だし混乱を招かなくていいと思う。(物理II)
- ・科目的に、二日間に集中して行う事は難しいが適当だったと思う。(化学II)
- ・様々な学校の様子を簡潔に見ることができたから。(家庭II)

② 悪い

【I期】

- ・出勤はよいが、退勤する時間が中途半端に思えた。授業が終わってから2時間もあり、その間クラブ活動の見学等、作業を与えてほしかった。(保育I)

- ・自分の担当する2年生の古文の授業を中心に見たかったのですが、この週はちょうど古典は漢文をやっているところだったので、2年生の古文のレベルがどれくらいなのかわからなかった。また現代文は一つの教材が終わるところだったので、授業のつなげ方を見られなかった。(国語I)
- ・一度(二日間)にまとめてほしい。自分の都合に合わせられるといつても、見たい授業に合わせてスケジュールを組むと、研究を途中でストップさせなくてはならない。(生物I)
- ・研究室の研究に差しつかえないように、と細かく分けたということだったが、結局ちょくちょくと研究室をぬけなくてはならぬので、それだったらびっちり2.5日間って決めてくれた方がやりやすい。(生物I)

【II期】

- ・内容から考えると1日で十分すべて行えると思った。(数学II)
- ・数時間で何日も来るという形態だと、結局実験が出来ない事が多かったので、二日決めて、まとめもらった方がかえって効率が良かった。(生物II)
- ・今思えばもう少し先生の授業を参観したかったので。日数が多くなっても参観授業数が多いほうが良い。(家庭II)

③ その他

【I期】

- ・良いとも悪いとも言えない。8時間、学内(高校)に拘束されるということには疑問を感じたが、利点もあり、より多くの授業が見られた気がする。(保体I)
- ・直前の指導は、もう少し前にやってほしいです。もしくは、指導案作りの範囲をもう少し早めに教えてほしい。(保体I)
- ・生徒の都合(大学のゼミなど)にうまく合わなかった。でも決められるとその日って決まるのでちょっとよかったです。(数学I)
- ・少しづつばらばらにあったため大変ではあったが、担当の先生の授業がたくさん見られてよかったです。(化学I)

【II期】

- ・各教科によって差があるが、教官と実習生が話し合い、両方の都合の良い日に事前指導が出来れば良いと思う。(音楽II)
- ・特殊な勤務形態だったのでよく分からぬ。(生物II)
- ・二日間にまとめてあった方が時間調整し易いが、時間割を考慮すると仕方ないと思ったので。(化学II)

I—5 事前指導の期間（2日間—16時間分）について

I期	良い	短い	長い	その他	計
国語	3	1	1		5
社会	3	1			4
英語	1				1
音楽	1		1		2
保育	2			1	3
数学			5		5
理科	6		3		9
家庭科	3				3
計	19	2	10	1	32

II期	良い	短い	長い	その他	計
国語	4	2			6
社会	3		1		4
英語	4				4
音楽	1		1		2
保育	3				3
数学	2		2		4
理科	4	1	1		6
家庭科	3				3
計	24	3	5	0	32

① ちょうど良い

【I期】

- ・授業見学という点ではちょうどいいのではないか。（保育 I）
- ・同じ単元の授業を複数のクラスで、また、続けて参観できたから。（国語 I）
- ・これ以上短いとあまり得るもののがなくなるし、これ以上長いと実習の準備に支障が出るような気がします。（国語 I）
- ・16時間あれば、古文、現代文双方とも参観でき、複数学年の見学もできたから。（国語 I）
- ・4と同じ。しかし実際は長い。テスト作成でほぼ毎日通ったり、自宅にFAXしたりとあったので。（英語 I）
- ・様々な形態の授業を見ることができたので、丁度良いのではないかと思います。（化学 I）
- ・短くもなく長くもなく。（地学 I）
- ・2日間、観察と討議その他を行い、いきなり実習というのは戸惑うが、大学と授業との兼ね合いがあるのでよい。（家庭 I）
- ・1日だと物足りなさが残るが、3日以上やっても、先生がお忙しいので大変。先生と相談する時間はそのときの都合に合わせてとっていけばよいと思う。（家庭 I）
- ・長すぎず、短すぎずちょうど良かった。（世 I）
- ・2日間続けてやったので長く思ったが、ちょうど良かった。（公 I）

【II期】

- ・2日間なのでそれほど負担にはならなかった。（保育 II）
- ・どういう期間がふさわしいのかよくわからないので。（国語 II）
- ・十分授業を参観でき、役立った。（国語 II）

- ・参観する授業数と、日誌を書く時間を考えるとちょうど良かった。(国語II)
- ・16時間勤務はちょうど良い。(国語II)
- ・事前指導の段階では、この程度が適していると思う。(国語II)
- ・ただしアンケートは事前指導直後の方がよい。前すぎてあまり思い出せない。(数学II)
- ・3日間だと観察できなかった授業もあったがこれ以上だとだれてくるのでいいのでは。(英語II)
- ・授業の参観および学校での作業をこなすのに適當な長さであった。(英語II)
- ・授業を参観するのにはちょうど良い長さだから。(英語II)
- ・1日で見るには忙しすぎ、参加や観察などの課題をこなすにはちょうど良い。(音楽II)
- ・授業の雰囲気に慣れる事が出来た。(物理II)
- ・長すぎず、短すぎる事もなく、ある程度の授業も参観できたから。(化学II)
- ・科目的に、二日間に集中して行う事は難しいが適當だったと思う。(化学II)
- ・2日間にわたったため1つの授業(20分でできる朝食)を別のクラスでみることができるのであるから。(家庭II)
- ・間接にいろいろなことが学べたから。(家庭II)
- ・時間が余っても、教案を練る時間に当てられるから。(世II)
- ・内容についてそれぞれの時間数など決められたことを考えると、ちょうど良い。(日II)

② 短い

【I期】

- ・できればもう少し時間を長くとっていただきて、数時間通しての授業展開が見られるとありがたいのですが…。(国語I)
- ・2~3日に限定するのではなく、1週間に1~2回授業をし、授業の進行速度を確認したりしても良いのではないかと思う。(日I)

【II期】

- ・個人的になってしまふが、古文を教えるのに漢文の授業ばかり見ることになり、正式な日程以外の日に来ることになってしまったから。(国語II)
- ・指導教官の授業が漢文の時期で、実習する古文の授業をほとんど参観できなかった。期間を延ばしてほしい。(国語II)
- ・もう少しいろいろな授業を見ておきたかったから。(物理II)

③ 長い

【I期】

- ・勉強にはなるが、もう少し短くてもいいと思った。(国語I)
- ・事前指導の意味(実習の前に2日間も時間をとった意味)はあまりよくわからなかった。(数学I)

- ・1日にまとめて欲しい。(数学I)
- ・何もしない時間が多かった。(数学I)
- ・2日間あるわりには内容があまりなかったような気がする。(数学I)
- ・一日で十分。(数学I)
- ・自分の教科の授業があまりなくて時間が余ってしまったから。(音楽I)
- ・資料整理等にあたる時間が長すぎる。(生物I)
- ・時間が空いてしまったから。(物理I)
- ・暇な時間が多かったので。(物理I)

【II期】

- ・1日で良かったと思う。(数学II)
- ・音楽は週に一回しかないのであいてる時間が多かった。(音楽II)
- ・こまぎれに何回も來たので結果的に16時間以上行った。(生物II)
- ・実際に参観する時間に比べ、暇な時間が長く、少し意味のない過ごし方をした時間が長かった。

(日II)

④ その他

【I期】

- ・全体的な長さとしてはちょうど良いが、1日あたりの時間が長すぎた。その間すべての授業を見学させていただいたが、集中力が続かないのが正直なところ。(保体I)

【II期】

(なし)

I — 6 事前指導の内容について

① 役に立った内容とその理由

【I期】

- ・実際の授業を参観すること。指導方法や生徒の反応、学習環境を具体的に把握できたから。(保体I)
- ・指導案作成の注意。実習までに時間的に余裕があり、何度も書き直していくことができたから。(保体I)
- ・授業の雰囲気に触れられたこと。実習前の準備としては絶対必要。(保体I)
- ・授業に臨む心構えの指導と、授業参観。実習をするにあたって1番の不安は、生徒の実態がわからないことなので、どういった雰囲気の授業でどう対処すべきか、直接知ることができたから。(保体I)
- ・指導教官との打ち合わせの際に伺った、教案の作り方、教え方のコツ。考えていなかったことをい

いろいろ教えていただけたので（便覧を使う方法や骨格の作り方など）教案を少しは良く作れたと思うから。（国語Ⅰ）

- ・授業見学。自分の授業を組み立てる上で参考になりました。（国語Ⅰ）
- ・時間配分と授業構成。今まで授業を受ける立場では気づかなかつたことだから。（国語Ⅰ）
- ・先生の指導からいろいろ学べたこと。実習の時に参考になったから。（国語Ⅰ）
- ・クラスや学校の様子をあらかじめ知りえたこと。実習の時に参考になったから。（国語Ⅰ）
- ・授業見学。自分が高校生だったのはもう4年も前のことだったし、「生徒」ではない立場から高校の授業を客観的に見ることができたのは、とても大きいと思います。（国語Ⅰ）
- ・担当授業の見学。具体的な授業の進め方、生徒の様子などを見ることができた。（日Ⅰ）
- ・指導教官の授業参観はもちろんだが、私の場合は模擬授業をやらせてもらったこと。実際生徒の前で授業をするときに、少しほは自信をもてたから。（世Ⅰ）
- ・授業見学。生徒の態度を知ることができたから。（公Ⅰ）
- ・授業参観。クラスの雰囲気がわかった。（数学Ⅰ）
- ・授業参観とテストの採点→クラスの雰囲気や、どのくらいのことを理解しているのか分かった。
(数学Ⅰ)
- ・試験解答。生徒たちがいろいろな解き方をするのを肌で感じた。（数学Ⅰ）
- ・テストの答え合わせをするのは生徒が考えもしないような事を書いていて、想像つかない答えをかいてくることが分かった。（数学Ⅰ）
- ・テストの採点は生徒の力や、どういったところで間違えるかなどがわかつて、とてもためになつた。（数学Ⅰ）
- ・先生方の授業の流れを見て自分の授業の組立の参考に出来た。（英語Ⅰ）
- ・生徒の様子を直接見ることが出来た。（音楽Ⅰ）
- ・授業の導入の仕方。休み時間のあとの落ち着きのない生徒たちをいかに引き込むかという所を色々な授業を参観して参考になったから。（音楽Ⅰ）
- ・指導教官の授業。自分の持ったクラスの生物への取り組み方が分かる。テスト作り・採点一教師になつたら避けて通れないことだから。（生物Ⅰ）
- ・授業の参観。クラスの雰囲気や先生の模範的な授業を見れたこと。テスト作り…初めて体験できたので大変という事が分かった。（生物Ⅰ）
- ・先生の授業の仕方。黒板・立ち位置・話す内容・量等授業案の参考になった。生徒の様子を見学できしたこと。心の準備ができた。（物理Ⅰ）
- ・先生の授業の見学。どのような授業をすれば効果的か分かったので。（物理Ⅰ）
- ・模擬授業。授業をやる際の時間の目安、やり方の心構えが出来たから。（化学Ⅰ）
- ・実習に行く前に、クラスの雰囲気が分かった事で、授業に取り組み易かったです。実習中には、先

生の授業を見る余裕はほとんどなかつたので、事前指導中に見られて良かったです。(化学I)

- ・模擬授業、黒板の使い方など、いくつか注意する点が予め分かってました。(化学I)
- ・授業見学、野外実習(化石掘り)。(地学I)
- ・実際に授業内容のところ(地層)を目で見られた。一日の流れが見られた。(地学I)
- ・生徒の様子、授業の見学。事前指導を受けたこの高校で実習をすることができたので、事前指導で具体的な生徒像をつかむことができた。(家庭I)
- ・授業参観ができたこと。どういう風に授業をしているのか参考になった。(家庭I)

【II期】

- ・授業参観により、生徒の様子や先生の授業の進め方などがわかつてよかったです。また先生に学年やクラスによる生徒のカラーの違いを話していただいたことも参考になった。(保育II)
- ・指導案について簡単にしか書いていなかったものを、もっと詳しく、そのプリントを見るだけで授業ができるように…というアドバイスをいただき、その単元について深く研究することができた。(保育II)
- ・授業を参観できたことは良かった。生徒の日頃の態度を知ることができたから。(保育II)
- ・教師のテクニック(机間巡回等)が見られたこと。意識しないとすることはできない。(国語II)
- ・授業参観。何より漠然とした不安をかき消すために良いと思った。(国語II)
- ・授業参観。発問のしかた、動きなど学ぶところが多かった。(国語II)
- ・担当教科、担当クラスの参観。具体的な指導方法がわかつたから。(国語II)
- ・授業参観。生徒たちの雰囲気をつかむのに役立ったし、授業の流れをどう組み立てていくかの参考になった。(国語II)
- ・担当授業の見学。自分の担当する授業の基本的な進め方や、担当クラスの生徒の様子がわかつたのでよかったです。(日II)
- ・授業参観。高校卒業以来はじめて客観的に見られたと思う。授業がどのように行われているか、生徒の様子も見ることができて良かった。(日II)
- ・自分の担当教科の授業を参観できました。やはり、普段どのような授業を行っているのかを知っておかないと、実習もどのように行ってよいのかわからないから。(日II)
- ・世界史の教官の授業参観。自分の担当教科の参考になった。(世II)
- ・授業参観→生徒の様子も観察出来た。(数学II)
- ・先生の授業見学→自分の授業の参考になった。(数学II)
- ・授業参観。自分がどのような授業を行うか具体的に考えることが出来た。(数学II)
- ・英語の授業の観察。その後の実習の教案作りに役立った。(英語II)
- ・指導させて頂く教科を参観したこと。(英語II)
- ・oral methodでの授業の進め方を見ることができたこと。(英語II)

- ・担当教官の授業をかなり多く参観できたこと。(英語II)
- ・自分の教科の観察。どのような生徒を教えることになるのか見ることが出来るし先生の指導の様子も分かる。自分の授業の参考になる。(音楽II)
- ・参観。クラスの様子や授業形態を知ることが出来た。(生物II)
- ・担当するクラスの雰囲気を知ることが出来た。(生物II)
- ・授業の参観。生徒の様子、クラスの雰囲気が分かった。(物理II)
- ・授業の見学。勿論授業を行う上で参考になつたし、クラスの雰囲気や授業の感じをつかめた。(物理II)
- ・授業参観、模擬授業：授業の進め方、時間配分を参考にでき、実習に役立てられた。(化学II)
- ・本物の授業を参観し、生徒の態度を観察できること。模擬授業はやり方が分かり、度胸がついてよかったです。(化学II)
- ・生徒たちの様子を知ることができたこと。授業内容を組み立てる際に必要な知識だから。(家庭II)
- ・HRを参観できること。生徒の雰囲気が理解できたから。(家庭II)
- ・クラスの雰囲気を知ることができ、様子がつかめた。調理実習、被服製作実習、講義とバランスよく見学できたから。(家庭II)

② 役に立たなかつた内容とその理由

【I期】

- ・何もやることのない時間。学外(大学図書館等)に出ても良いのでは？(保育I)
- ・クラブ活動見学。邪魔になってしまったと思う。(保育I)
- ・指導教官との打ち合わせの際に伺った、自分の担当するクラスについての印象。クラスをよく知つていらっしゃる先生から伺っておけば安心だと思って教えていただいたのだが、先生方への対応と教生への対応を生徒が覚えるのは当然だったし、先入観が打ち砕かれると立ち直りづらかった。(国語I)
- ・ホームルーム。偶然だと思うが、大学図書館の説明だったので、ホームルームそのものを見ることができなかつたから。(国語I)
- ・役に立たなかつたわけではないが、たまたま授業形式で行われていないクラスがあり、それが特に見たいクラスだった時、残念だった。(国語I)
- ・古文を教える場合は古文の、しかも担当するクラスの授業を見たかった。(国語I)
- ・授業を見るに集中していて、校内の地図が頭に入らなかつた。HR参観はあえてする必要が無なかつたのではないかと思う。(公I)
- ・教材整理。(数学I)
- ・時期が早くて授業を参観してもどこを見なければならないかいまいち分からないまま終わつてしまつた。

まった。(数学 I)

- ・どうしても見方が生徒の視点になってしまい、どう参考にして良いのか分からなかった。(英語 I)
- ・他教科の授業。生物の時と態度が違うので参考にはなるが、あまり必要性を感じない。資料整理。(生物 I)
- ・薬品の整理。自分が使う分はよいがその他の在庫調べはあまり変化していないし意味が無いと思う。(生物 I)
- ・LHR観察。教育実習の観察は良かったが、それだけで充分。事前指導ではクラスもあまり選べない。(化学 I)

【II期】

- ・バレー ボールの指導案を作成したが、結局私たちはバレー ボールの授業を受けもたなかった。その分、実際に受けもつ授業の指導案に力を入れたかった。(保体 II)
- ・後期の体育では使わないバレーの指導案を書いたため、II期分の体育の内容を始めから教えていただきたかった。(保体 II)
- ・バレー ボールの指導案を書いたが、授業は実施されなかったので役に立たなかった。エアロビの指導案のほうがよかったです。(保体 II)
- ・HRの観察。自分の教えるクラスではないので。(国語 II)
- ・HRの参観。ただ話を聞くだけの HRだったので。(国語 II)
- ・HR観察は授業とは違う部分を見ることができるが、3年生のHRとなると必然的に必要事項しか行わないので、意味があるのか多少疑問があった。(日 II)
- ・何もしていない時間が多かった。(数学 II)
- ・教材整理。(数学 II)
- ・教師としての心構え。実際に教壇に立たないと分からない。(英語 II)
- ・自分の担当するクラスの授業をもっと参観したかった。生徒のことがよく把握出来なかっただため。(音楽 I)
- ・あいてる時間が多すぎた。(音楽 II)
- ・顕微鏡整備…使わなかったから。(生物 II)
- ・期末テストの作成と採点。私たちは全く教えていない内容についてのテストを作るのはあまり意味が無いと思う。
顕微鏡レポートの採点と片付け。私たちが行わせた実験ではないのに採点は難しい。また片付けも生徒がやっても良いと思う。
- ・資料整理。私たちが使うであろう物に関しては役立ったが、使う予定の無い物に関しては役立たなかった(ビデオの在庫整理とリストアップ)。(生物 II)

- ・実習生による話し合い。特に決まったことを話したり何か結論を出すように言われなかつたのでダラダラしゃべっているだけになってしまっていた。(物理II)

③ あつたほうが良い内容とその理由

【I期】

- ・自分の教科についてしっかり観察することももちろん大切だが、1つのクラスに1日付いてみると、生徒1人1人の1日の様子等も知りたかった。実習中でも、どうしても自分の作業に手一杯で周りを見る余裕がなかったから。(保体I)
- ・指導案(細案)の例などのプリント、注意点。大学では、あっさり終わってしまったので。(保体I)
- ・(自分の教えるクラスだけでも)自己紹介。早くから生徒と顔見知りになっていたほうが、参観のときに変な目で見られないだろうし、授業に入りやすいかと思われる。(国語I)
- ・前から見る授業参観。無理かもしれないが、実習が始まって「後ろから見ていたのと違う」と痛感したので。もちろん事前指導の参観は先生方の教え方を見るのが第1なのだが。(国語I)
- ・クラブ活動や委員会等の見学。生徒たちが、授業以外でどのような面を持っているか知ることができなかつたから。(国語I)
- ・観察記録への担当教官のコメント記入と、実習生への返却。授業見学での着眼点や、批評、考察について、担当教官にコメントしてもらえるとしたら、実習の際どのような点に注意するべきか実習生がとらえやすいと思う。(日I)
- ・模擬授業。実際生徒の前に立ったとき、全然違うと思う。(世I)
- ・指導案作り。簡単にでもしてくれた方がよりよい授業をする上でいいと思う。(数学I)
- ・教生同士の話し合いの時間。たくさんありそうだが実際は観察に追われてしまった気がする。教案を作る。(英語I)
- ・模擬授業。他の教生の授業を見ることで授業に慣れていない人の短所が分かって参考になると思う。(生徒がいないのに授業をするのも恥ずかしいですが…)(物理I)
- ・部活などの参加。生徒の部活動の様子が観察できるので。(物理I)
- ・課外活動の見学。(化学I)
- ・事前指導・事後指導で半日、とか一日とかの時間数の数え方がはっきりしなくて困った。(地学I)

【II期】

- ・この高校の教育方針の説明。この高校では生徒に何をどこまで許しているのか、自分の良識の範囲で判断して生徒に注意してよいのかなど全くわからなかつた。そのためただ授業をしただけという印象しか残つてない。(保体II)
- ・指導案。書き方を全体を通して教えていただきたかった。皆、1人1人調べて書いたが、結局書き方がばらばらだった。(保体II)

- ・自分の担当するクラスのHRの観察。少しぐらい生徒も覚えるだろうし、対処の仕方を考えることもできると思う。(国語II)
- ・黒板の書き方講座など、具体的な授業についての指導。ぶっつけ本番でとまどったから。(国語II)
- ・クラブ活動や委員会の参観。授業だけでは見られない生徒たちの活動の様子にも興味があるため。(国語II)
- ・教案の作り方について教官の講義。(授業のコツも) (世II)
- ・採点は、ほかの人たちもやったほうが良いと思う。(数学II)
- ・1日のスケジュール (数学II)
- ・人前で話すということに慣れておきたかった。1人ずつスピーチする機会があるとうれしい。教案を作成させて意識を高める必要もあったのでは。(英語II)
- ・授業を参観する際のチェックポイントを教えていただけたら、また教案の書き方の指導を頂けたらと思う。6月の時点ではどうしても生徒の側からの参観であったように思うので、せっかくの機会を十分に生かせてなかった。(英語II)
- ・実際に教案を作成して、それと先生の授業と比較してみたりすること。先生の授業を一方的に見るだけではどのような授業をしていくかイメージが湧きにくいから。(英語II)
- ・2日間参観をして、また教案を作った後参観したかった。(英語II)
- ・もう少し詳しい学校のカリキュラムや1日の流れの説明。朝の会がないことやクラス担任として入らないことが分からず迷ったので。(音楽II)
- ・ホームルームの参観。中学の指導にも役立つと思う。(物理II)
- ・中学の同教科の授業の見学はしてみてもいいかもしれない。研究授業で中学の授業を見学させてもらって凄く参考になったし、また自らについて反省させられた。実習期間の最後の方に見たので自分の授業が終わっていた事が見学を生かせなくて残念だった。(物理II)
- ・初回の授業分の模擬授業を行う。慣れる為に更に整理できると思う。(化学II)
- ・違う教科の参観もしてみたい。教科による教授法の違いや、生徒の反応を知りたいから。(家庭II)
- ・先生との具体的な話し合い。(家庭II)
- ・実習だけでなく、教室での講義も参観したかった。(家庭II)

II 教育実習について

II-1 担当した授業時間について

I期	適切	やや多い	やや不足	その他	計
国語	3	1	1		5
社会	3	1			4
英語		1			1
音楽	2				2
保育	2	1			3
数学	3	2			5
理科	6	1	1	1	9
家庭科		3			3
計	19	10	2	1	32

II期	適切	やや多い	やや不足	その他	計
国語	2		4		6
社会	4				4
英語	3			1	4
音楽			2		2
保育	3				3
数学	3	1			4
理科	6				6
家庭科	3				3
計	24	1	6	1	32

① 適切

【I期】

- ・担当している時は多いように感じましたが、終了してみると、これくらいやって、苦労も達成感も味わえたように思います。(保育 I)
- ・1日に3時間も実習を受けもったりする日もあり、多少辛かった面もあるが、これくらいやらせていただぐと、失敗したことに修正を加えていけたり、ある程度のコツをつかむことができたから。(保育 I)
- ・どうやらかなり授業時間が多かったらしく、いろいろな人に同情された。生徒にまで。授業時間そのものは私より多い人もいたが、その人は3クラス全部担当していて同じ内容を繰り返していた。私は常に新しい内容を行っていたので、実質準備する内容はかなり多かったようだ。しかし、そのおかげで成長することができた。(国語 I)
- ・準備の時間に比べ、あまりに時間数が多いと、1つにかけられる時間が短くなるから。(国語 I)
- ・多いという気もするが、経験を積めるのでこの程度でよいと思う。(国語 I)
- ・他の人より少なかったが、ちょうど良かったと思う。他の人は大変そうだった。(7時間の人)(公 I)
- ・各クラス3時間ずつだったので、慣れていくのに十分な時間だった。(9時間の人)(世 I)
- ・同じ内容の授業を二回ずつ行ったので、時間数ほど教材研究が大変ではなかった。(数学 I)
- ・ちょうど良い。(数学 I)
- ・一つ授業して、その反省をふまえて次の授業をするというのに丁度良い時間数だった。(数学 I)
- ・他の教科に比べると授業時間数が極端に少ないため、フルに使えたと思う。(音楽 I)

- ・自分の範囲では2時間で大体の内容を教え、1時間は実験、その後の1時間で実験のまとめができてちょうど良かった。また2クラス教えることが出来たので、反省点を次に生かすことが出来たから。(生物I)
- ・大変になるくらいの量ではなく、少なすぎもしなかった。(物理I)
- ・これ以上多いと授業の準備に時間をとられて、一つの授業にかける準備時間が減ってしまったと思うから。(化学I)
- ・集中できる数だった。(地学I)

【II期】

- ・授業時間数は他教科に比べて多かったようだが、ダンスコンクールシーズンで体育はダンスがほとんどだったので、それほど負担にはならなかった。(保育II)
- ・授業数は他教科に比べて多かったが、ダンスコンクールのための授業が多く、それほど負担にはならなかった。(保育II)
- ・負担になるほど多くなかったから。(保育II)
- ・だいたい1単元を終えられる時間数だと思うから。(国語II)
- ・1週間あたり3時間だと、授業準備などに余裕があり、ちょうど良いように感じる。(国語II)
- ・教案の数も5つだったので、これ以上教案の数が増えると辛くなってしまう。教案数を減らして、授業数を増やしても良いのかとは思う。(5時間の人)(日II)
- ・9時間分の教案を作ることではなかったので。3時間×3クラスだったのでちょうど良かった。(9時間の人)(世II)
- ・ただし前半に集中していたため前半はハード過ぎた。(数学II)
- ・授業に慣れ、また自分なりにペースを築く為、また他の方の授業を参観させて頂く為にちょうど良いと思う。(英語II)
- ・他の教生の授業を見る時間も十分あって充実していた。(英語II)
- ・ある程度教えることに慣れることが出来た。(物理II)
- ・実験なんかも交えてこのくらいで良かったから。(物理II)
- ・週三回と、適当なペースで授業する事ができたから。(化学II)
- ・教育指導案を作ったり準備をするのに適切だったから。(化学II)
- ・どの時間にも全力投球できたから。(家庭II)
- ・台風で1日休校になって、授業数が減ってちょうど良かった。(家庭II)
- ・3種類の授業を担当し、バランスが取れていたので。(9時間の人)(家庭II)

② やや多い

【I期】

- ・次の日の授業の準備が2つ以上もあるという状態があり、少しおろそかになってしまふため。(保

体 I)

- ・授業が週の前半に集中していたからか、次の授業で使う教案の手直し等の時間が少なく感じられた。間があいていれば 8 時間は多く感じないと思う。短縮授業だったので教え終わるのが大変だったという意味では、時間数は少なかった。(国語 I)
- ・3 年の 3 クラスを担当し、同じ内容を 3 回繰り返すため、準備は 1 回でよかったが、時間ごとに手直しが必要で大変だった。(日 I)
- ・毎日指導案の作成におわれて終わった授業を見直すことが出来なかった。(数学 I)
- ・他の実習生の 2 、 3 倍あったことから。たくさんの機会があって良かったが、時々準備に追われるだけで十分な準備が出来ないこともあった。(反省点を生かし切れない) (英語 I)
- ・実験では準備が通常の何倍も時間をとる。予備実験を何度も繰り返すにはもっと時間が必要である。(生物 I)
- ・1 日に何時間もあると、体力的にきつかった。(家庭 I)
- ・授業の準備があまりにも大変。(家庭 I)
- ・次々に新しい指導案を考え、作成し、授業を担当するのと、慣れない生活をするのとでストレスがたまる。(全て 16 時間の人) (家庭 I)

【II 期】

- ・まわりと比べて授業数に差があったように思う。(数学 II)
- ・他の教生の授業を参観出来ない。前の授業が未消化のまま次の授業に入ってしまう。(英語 II)

③ やや不足

【I 期】

- ・はじめはそうでもないと思ったのですが、私の場合、 3 クラスを担当させてもらったので、 1 クラスにかかる時間が 3 時間というのは少ない気がします。生徒の顔も覚えられず、残念でした。(国語 I)
- ・授業時間が多くなれば、授業は大変であるが、もう少し生徒達と接する時間が欲しかった。(化学 I)

【II 期】

- ・無理だと思うが、 40 分授業 × 7 では短すぎて、授業内容が詰め込まれ、生徒と関わり合いのある授業ができなかつたので、何とかしてほしい。(国語 II)
- ・自分ではいっぱいのつもりだったが、明らかに他の教生より少なかったから。(国語 II)
- ・現代文 3 時間、古文 4 時間だったため、ペースをつかんだ頃には終わってしまったような感じだったので。(国語 II)
- ・内容のわりに時間が少なかった。(国語 II)
- ・大勢の生徒を前にしたのは 4 時間で、金曜日という週の最後に二時間続きであったので、結果的に

2日のようなかんじであったため。(音楽II)

- ・母校なら生徒も授業ももっとあったのに…と思う。(音楽II)

④ その他

【I期】

- ・クラスの授業数が少なく生徒の様子がよく分からなかった。個人レッスン形式の選択授業数は適切だと思った。(音楽I)

【II期】

(なし)

II-2 教育実習の時期について

I期	良い	悪い	その他	計
国語	1	3	1	5
社会	4			4
英語	1			1
音楽	2			2
保育	1		2	3
数学	1	3	1	5
理科	4	2	3	9
家庭科	1	2		3
計	15	10	7	32

II期	良い	悪い	その他	計
国語	5	1		6
社会	3	1		4
英語	2	2		4
音楽	2			2
保育	2	1		3
数学	3		1	4
理科	3	1	2	6
家庭科	3			3
計	23	6	3	32

① 良い

【I期】

- ・大学の授業は休まなければならないが、夏休み前、生徒も試験後で、ちょうど良かったと思う。(保育I)
- ・7月と9月というのは、今年採用試験や私学適性を受ける人にとって大変かなあと思いますが、私は受けないつもりだったのでよかった。(国語I)
- ・期末テストが終わりあとは夏休みを待つだけという時期だったが、生徒は浮き足立った様子はなく授業をしやすかったから。(世I)
- ・暑さはあったが、終了すれば夏休みなので区切りが良かった。(公I)
- ・教師という立場を知ることが出来た。(数学I)
- ・早く終わって早く卒論のことだけを考えられるようになったので。就職活動がなかったので6月でも良かった。(英語I)

- ・生徒のテストが終了しているから。(音楽 I)
- ・試験後で授業するのに気が楽だった。(音楽 I)
- ・大学院入試が 9 月にあったので。(化学 I)
- ・暑いけれど、4 月 5 月 6 月は就職活動がありますし、10 月 11 月 12 月頃(涼しい)でもいいのかとも思いますが…。(地学 I)
- ・暑いのはいやだが生徒にとってはちょうどテストも終わり夏休み前の時期なのでよいと思う。(家庭 I)

【II期】

- ・I 期と II 期とあって都合に合わせて選べるのが良かった。私は就職活動をしていたので、9 月というのはうれしかった。だいたい 5 ~ 6 月が主流で、それだと辛かったと思う。(保育 II)
- ・I 期、II 期とだったので、自分の都合に合わせられる点が良かった。(保育 II)
- ・特になし。妥当かと思われる。(国語 II)
- ・ちょうど大学の授業がない時期だから。(国語 II)
- ・大学の夏休み期間で、授業を休まずにすんだから。(国語 II)
- ・大学が休みだから。(国語 II)
- ・就職活動をしていたので、II 期のこのような時期に実習できてありがたく思っている。地元の出身校ではおそらく 6 月ごろにしかできないので、両立させねばならなかった。(国語 II)
- ・普通、6 月くらいだけのところが多いが。6 月は忙しい時期なので、9 月にも実習期間を設けてくださってよかった。(日 II)
- ・II 期はダンスコンクールの時期で、HR で参観できてとてもよかったです。台風のとき、学校側の対応も見られて勉強になった。(日 II)
- ・9 月は暑くも寒くもなかったから。(数学 II)
- ・9 月の実習は夏休み明けの時期なので、夏休みを利用して教案について考えることが出来たので良かったと思う。(英語 II)
- ・夏休みをはさんでまた違ったタイプの実習生と生徒も接することが出来るし行事も見られた。(音楽 II)
- ・学期初めできりが良く、大学の休み中だったから。(化学 II)
- ・大学が休み期間だったので、授業を休まずにすんだから。(家庭 II)
- ・暑くなくてよかった。(家庭 II)
- ・夏休み中に準備ができたから。(家庭 II)

② 悪い

【I 期】

- ・暑かったです。(保育 I)

- ・ちょうど大学の前期授業の最終局面にさしかかったところで実習があるので、中途半端になってしまうから。(国語I)
- ・異常に暑くて肉体的に辛かったので。生徒も大変そうだった。(国語I)
- ・とてもあつくて大変だった。生徒もだれていた。(数学I)
- ・暑くて暑くて暑いのが苦痛であった。(数学I)
- ・暑すぎてどうしようもない。(数学I)
- ・もっと涼しい、早い時期に行って欲しい。暑いのとテスト後というので、生徒が真剣に取り組んでいないし、こちらも体力を大幅に消耗した。(生物I)
- ・この時期は暑いので自分も生徒もバテてしまいがち。また事前指導と同様に前期にしろ後期にしろ院試が近い時期で大変だった。もっと早い時期にすべき。母校などは5月に行っていた。(生物I)
- ・大学の試験の直前というのは体力的に精神的に疲れる。(家庭I)
- ・暑いから生徒がだれやすくて教生にはつらい時期です。(家庭I)

【II期】

- ・4年生の最後の夏期休業中に行うのは好ましくない。3年生のうちにやりたかった。(保育II)
- ・卒論などの精神的圧迫があるので、5、6月に終わらせたかった、というのが個人的な希望。7、8月は博物館実習だった。(国語II)
- ・4年の6～9月は皆忙しいのでもう少し選択の幅を増やして欲しい。(3月から9月など。)(世界II)
- ・教員試験後なので自分の適性が分からぬ。(英語II)
- ・卒論のこともあるのでもう少し早くすれば良かった。(英語II)
- ・大学院の入試とぶつかってしまい大変だった。(物理II)

③ その他

【I期】

- ・短縮時間割になったことで、1時間の時間(40分)という時間が短く実習する側としては辛い。しかし生徒にとってはテストも終わっており、気分的に楽な時期だからよいのかもしれない。(保育I)
- ・初めての実習が夏の暑い時期だと、集中力や体力の低下があり、指導案や内容以外の部分でエネルギーを消耗してしまうため。また、生徒の反応も悪くなるから。お互いだらけてしまう。(保育I)
- ・こちらの都合からすれば良かったが、生徒が休み前で集中していなかったような気もするので。(国語I)
- ・暑すぎました。(物理I)

- ・今年の夏は非常に暑く、授業も大変だったけど、まず暑さに対応する事が大変だった。冷房の無い教室での授業がどれほど大変かよく分かりました。(化学I)
- ・時期が悪いというわけではないが、暑すぎた。(化学I)

【II期】

- ・時期については良いと思う。ただ、8月末に大学院入試があったので個人としては辛かった。(数学II)
- ・ダンスコンクールや文化祭などで生徒が賑やかで授業に集中力がかけた部分もあったが、その一方その様子を見て私たちは多くのことを学べたと思う。(物理II)
- ・時期は適当だと思ったが、院試の直後で慌しかった。(化学II)

II—3 勤務時間について

I期	適切	悪い	その他	計
国語	3		2	5
社会	4			4
英語	1			1
音楽	2			2
保育		1	2	3
数学	3	2		5
理科	5	2	2	9
家庭科	2	1		3
計	20	6	6	32

II期	適切	悪い	その他	計
国語	5		1	6
社会	4			4
英語	2	1	1	4
音楽	2			2
保育	2	1		3
数学	4			4
理科	5	1		6
家庭科	3			3
計	27	3	2	32

① 適切

【I期】

- ・早起きできたので良かったです。(国語I)
- ・次の授業を準備するための時間が十分だったから。(世I)
- ・朝早いのは仕方ないし、その分16時から帰ることが出来るので、家でゆっくり指導案を考えることができて良かった。(数学I)
- ・朝早いが、学校にいる時間が長く、ほかの授業を見たり指導案を考えたりするのに丁度良い。(数学I)
- ・長すぎず短すぎずだと思った。体調があまり良くなかったので、早く帰れるのは正直ありがたかった。(英語I)
- ・始業時間と授業時間を考えれば、妥当だと思う。(音楽I)

- ・4時に終わるから。(音楽I)
- ・朝早いのは辛かったけれど、高校生と同じ規則正しい生活をするのも良かった。(化学I)
- ・最大で5時半より遅くして欲しいときもあったがちょうど良い。(家庭I)
- ・暑くなる前から授業を始めるのは良いと思う。(家庭I)

【II期】

- ・少し朝早いと思ったが、その分退勤時間が早いのでよかった。ただ、授業後やることがないのに4時まで拘束するのは疑問なので、何か経験させてくれれば…と思った。(保体II)
- ・朝が通常の学校より早かったが、その分帰りも早く、午後の時間が有効に使えた。(保体II)
- ・こちらの高校は朝が早すぎると思うけれど、8時間勤務は普通だと思う。(国語II)
- ・朝早く夕方早く帰れるので、授業の準備が十分できた。(国語II)
- ・朝が早い分、4時で帰ることができて助かった。(国語II)
- ・基本的に4時には帰ることができますので、適当だと思う。(国語II)
- ・高校の始まる時間にきて、終わる時間に帰るのは当然だと思う。(日II)
- ・ちょっと朝が早いが…。(数学II)
- ・4時～4時半に終了したので次の日の授業を考える時間が十分あり良かった。(英語II)
- ・朝早すぎると思ったが、その分早く帰れたので次の日の準備が出来た。(英語II)
- ・朝は他の学校よりも早いが帰りは四時で遅くもなく、1日の勤務として適切だと思う。(音楽II)
- ・朝早く大変だったが、実際に教師となったときの事を考えると当たり前だと思う。(物理II)
- ・生徒とほぼ同じくらいでいいと思う。(物理II)
- ・実際の勤務時間と同じなので。(化学II)
- ・学校の1日の様子を体験できたから。(家庭II)
- ・朝早いのが良い。(家庭II)
- ・生徒と同じ生活時間だったのが良いと思う。(家庭II)

② 悪い

【I期】

- ・事前指導と同じく、出勤はよいのだが、退勤時間が中途半端。指導案を書くなどやることはあったが、集中できる環境でもなかつたりして、何となしに手持ち無沙汰な印象が残ったから。(保体I)
- ・朝が早すぎる。(数学I)
- ・空き時間は研究に戻れるようにした方が良い。16時～大学に戻り、研究をしたので体力的に大変だった。お昼休みだけでも戻れると大分違うと思う。(生物I)
- ・朝はもう少し早く開けていて欲しい。1時間目が実験の時準備がし終わらない。また帰りの時間も授業が終わってからが長いと思う。その日のまとめや授業の準備が出来ていが、研究室のほうも

いかなくてはならない人もいるので、もう少し臨機応変にするべきではないか。(生物 I)

- ・自分が担当する授業が1日もない日はもうちょっと勤務時間を柔軟にしたほうが良い。(家庭 I)

【II期】

- ・授業終了後から4時までの時間がとても無駄だと思った。家に帰って集中して次の指導案を作りたかった。(保育 II)
- ・朝が早すぎる。(英語 II)
- ・朝開錠が7:40に対し授業開始が8:10で準備が間に合わない。(生物 II)

③ その他

【I期】

- ・最終の授業が終わってから2時間拘束されるのは、効率的ではない気がします。用がある人は自然と残るので、何もない人は先に帰ってもいいのではと感じました。(保育 I)
- ・すべての授業が終わるのが13:50なのに、16:00までいる必要があるのだろうか？指導案の作成がある場合、指導教官に相談に行けるという点ではよいと思う。(保育 I)
- ・夕方が少し遅い気がするが、その長い時間に教生同士で話し合いができたのは良い。しかし遠くから通っているので、家に帰ってからしたい作業の時間が少なくなってしまった。(国語 I)
- ・夏時間なので仕方ないが、朝の始まりが少し早かったから。(国語 I)
- ・家が遠いせいもあって朝が早いことが本当に辛かったが、早く帰ることができるので。(国語 I)
- ・もう少し早くても良いと思った。(物理 I)
- ・夏時間があるのはとても良いと思いました。(地学 I)

【II期】

- ・個人的に朝は辛いのだが、夕方早く終わる分良い。妥当なところであると思う。(国語 II)
- ・授業がある時間以外は準備や他の方の参観で意義のある時間だったが、体力的には辛かったので適宜休息がとれると良かった。(英語 II)

III 事後指導について

III-1 事後指導の時期について

I期	良い	悪い	その他	無記入	計
国語	1	3	1		5
社会	3	1			4
英語			1		1
音楽	2				2
保育	2		1		3
数学		5			5
理科	5	4			9
家庭科	3				3
計	16	13	3	0	32

II期	良い	悪い	その他	無記入	計
国語	4	1	1		6
社会	4				4
英語	4				4
音楽	2				2
保育	3				3
数学	4				4
理科	4		2		6
家庭科	1	2			3
計	26	3	3	0	32

① 良い

【I期】

- ・実習から期間があきすぎず、ちょうど良い。(保育 I)
- ・I期にやった人間としては、もう少し記憶が新しいうちにやってしまうほうが良かった気もしますが…。(国語 I)
- ・次の日なので反省が十分にできる。(公 I)
- ・直後ということで実習で行ったことをよく覚えていて反省できるから。(音楽 I)
- ・教育実習の直後なのでよいと思います。(物理 I)
- ・少し実習から期間があいてしまっていたが、中間テストの作成などが出来てよかったです。(化学 I)
- ・実習の次の日だったのでいつものリズムで行けたので。(地学 I)
- ・実習が終わってすぐなので記憶が鮮明。(家庭 I)

【II期】

- ・実習後すぐなので、他のスケジュールに影響しないし、記憶の新しいうちに行われるので良いと思う。(保育 II)
- ・次の日だったので、実習中の内容を覚えていて良い。(保育 II)
- ・教育実習直後なので、実習中のことを覚えているから。(保育 II)
- ・私はII期だから実習終了の3日後でちょうど良いと感じたけれど、I期だったら間が空きすぎたと思う。(国語 II)
- ・早すぎず遅すぎず、一番良いと思う。(国語 II)

- ・レポート、テスト案の作成には少し時間が短すぎるが、忘れないうちに始まってよい。(国語II)
- ・直後なので、実習の反省を覚えているから。(世II)
- ・実習の直後で、その反省がしやすい。(日II)
- ・自分としては、後期実習の翌日ということで、反省の時間としてまだ鮮明でよかった。I期の人が時間はあいているとは思うが合同でやるという形態では最も良いと思う。(日II)
- ・終わってすぐだったので。(数学II)
- ・直後で良い。(英語II)
- ・教育実習の内容を忘れないうちにあったから。(英語II)
- ・実習が終わってすぐで、印象も強かった。(音楽II)
- ・実習後すぐだったので。(生物II)
- ・割とすぐだったので忘れてしまう前に振り返れた。(物理II)
- ・終わった直後だったので。(化学II)

② 悪い

【I期】

- ・I期に行ったため、記憶が古くなっているので。(国語I)
- ・II期の人とのかねあいもあるので難しいのかもしれません、教育実習後2ヶ月も経過していたので夏休みボケしていた。(国語I)
- ・I期にとっては、実習から間があきすぎるから。(国語I)
- ・I期の私にすれば、ちょっと間があきすぎてしまった感じだったから。(世I)
- ・I、II期共通なので、I期の人にとっては実習と離れすぎている。(数学I)
- ・実習が終わってすぐの方が良い。(数学I)
- ・教育実習をしてかなりたっていた。(数学I)
- ・実習が終わってから時間がたっていたので忘れていた。(数学I)
- ・遅い。I期は別で早い時期にして欲しかった。(数学I)
- ・少し遅い。前期に実習したので、内容を忘れてしまう。(生物I)
- ・前期だったので大分忘れていた。(生物I)
- ・実習が終了してから2ヶ月ほど間があいたので。(化学I)
- ・教育実習の直後の方が良かった。(化学I)

【II期】

- ・II期だったため、実習と事後指導が2日しか離れておらず、レポートとテスト問題作成の時間が短かった。(国語II)
- ・実習終了から時間があいていると思ったから。(家庭II)
- ・少し遅い。わざわざ大掃除の日にしなくとも。生徒よりもはるかに一生懸命掃除をしたのでは?

(家庭II)

③ その他

【I期】

- ・ II期の実習時期と事後指導は良い間隔だと思うが、I期を終えた人にとっては時間が経ちすぎていると思うから。(国語I)
- ・ とても都合が良いという意味ではないが、II期が終わったすぐならこの日位だろうと思う。(I期のあとすぐが一番うれしかったが…。) (英語I)

【II期】

- ・ I期とII期を一緒にするのはどうなのか。II期の人はレポート、テストが大変。I期の人は忘れてしまうのでは? (国語II)
- ・ 事後指導の目的がわからない。(生物II)
- ・ I、II期の両方と一緒に行ったので、I期の人は時期が遅いと思う。(化学II)

III—4 2の勤務形態について

I期	良い	悪い	その他	計
国語	5			5
社会	4			4
英語	1			1
音楽		1	1	2
保体	1	1	1	3
数学	3	2		5
理科	8	1		9
家庭科	3			3
計	25	5	2	32

II期	良い	悪い	その他	計
国語	6			6
社会	3	1		4
英語	3	1		4
音楽	2			2
保体	3			3
数学	4			4
理科	4	2		6
家庭科	3			3
計	28	4	0	32

① 良い

【I期】

- ・ やるべきことが明確で、やりやすかったから。(保体I)
- ・ 1日で完結できるので。(国語I)
- ・ 1日で済んだほうが他の日に影響がないから。(国語I)
- ・ 実習が終われば本業の4年という身分で卒論などがあるから。(公I)
- ・ 長時間拘束されるわけじゃないから。(世I)
- ・ 人数がとても多いのでこれだけの人数を消化するには1日くらい必要だと思う。(家庭I)

- ・まとまった時間が取れる。(家庭I)
- ・分割して行うよりも能率が良い。(家庭I)
- ・一日で済むので。(物理I)
- ・研究もやっていたので時間を上手く使えた。(化学I)
- ・与えられた課題をするのには丁度良い時間配分だったと思います。(化学I)
- ・実習の続きみたいで楽な気持ちで終わった。(地学I)
- ・1日で終わるから。(英語I)

【II期】

- ・1日かけてでも、その日で全部終わったほうが効率的だと思う。(保育II)
- ・1日でやるほうが集中してできる。(保育II)
- ・1日で終わって良い。(国語II)
- ・教官の都合でかまわないと思うので。精神的に楽だと、気持ちに融通がきく。(国語II)
- ・遠距離の実習生が2回登校しなくて良いから。(国語II)
- ・1日で終わるほうが講義に支障が出なくて良い。(国語II)
- ・分割して行うよりは、1日にまとめていたほうが良い。(国語II)
- ・すでに事前指導のときから日程、形態とともに決まっていたから全く問題はないと思う。(日II)
- ・1日で終わるほうが良い。(家庭II)
- ・まとまって反省ができるから。(家庭II)
- ・別に問題ないと思う。(物理II)
- ・問題作成、採点なので適当だと思う。(化学II)
- ・1日にまとめていてやりやすかった。(数学II)
- ・分散されても困る。まとめててよかった。7月の人は困るかも。(英語II)
- ・1日にまとめるのはよい。(英語II)
- ・集中していて良い。(英語II)
- ・じっくり振り返ることが出来る。(音楽II)

② 悪い

【I期】

- ・レポート、アンケートのまとめであるが、これだけ時間を持って作業するには長いような気もする。(保育I)
- ・一日で済ませたい。(生物I)
- ・長すぎると思う。(数学I)
- ・1日いる割には内容がない。(数学I)
- ・時間が長すぎる。実習期間内に反省し尽くした。(音楽I)

【II期】

- ・2日に分割されているのはいいが、半日もいる必要はないと思った。(世II)
- ・分割より一括で終わる方が日が空かないのでよい。(生物II)
- ・事前指導と同様に、一日にまとめてもらった方が卒研への影響が少なくてよい。(生物II)
- ・少し長い。実習を振り返ることは大切だが、一人で出来る作業は一人でしてきた上で短い時間集中してやりたい。(英語II)

③ その他

【I期】

- ・事前指導と同じく、8時間拘束にはあまり意味がない気がするが、集中はする。(保体I)
- ・事前指導、反省会などでたくさん話し合いをしたので時間が余った。(音楽I)

【II期】

(なし)

III—5 事後指導の勤務（1日—8時間）について

I期	良い	短い	長い	その他	計
国語	2		3		5
社会	2		2		4
英語			1		1
音楽			2		2
保体			1	2	3
数学			5		5
理科	6		3		9
家庭科	2		1		3
計	12	0	18	2	32

II期	良い	短い	長い	その他	計
国語	1		5		6
社会	1		3		4
英語	3		1		4
音楽			2		2
保体	1		2		3
数学	2		2		4
理科	3		3		6
家庭科	1		2		3
計	12	0	20	0	32

① ちょうど良い

【I期】

- ・長くもなく短くも良かった。(化学I)
- ・時間を持て余すことなく作業が出来た。(化学I)
- ・やることがあったから。(地学I)
- ・人数が多いので全員の体験発表を聞いたり意見をまとめたりするとちょうど良い。(家庭I)
- ・それ以上長いと中身がだれてしまいそうだから。(家庭I)

【II期】

- ・2週間という期間のまとめをするのだから、ある程度の時間は必要だし、1日だとそれほど負担にはならない。(保育II)
- ・他にどういう形態なら良いかわからないので。(国語II)
- ・一般的には短いのかもしれないが、授業準備に調べものをしに行ったりできる時間帯に終了できるのでこれくらいが良い。(日II)
- ・レポートについてじっくり考える時間もとれ、良かった。(英語II)
- ・必要最低限の事をするのに適当な時間だと思う。(化学II)

② 短い

【I期】

(なし)

【II期】

(なし)

③ 長い

【I期】

- ・レポート、アンケートのまとめであるが、これだけ時間を持って作業するには長い気がする。なにかもっと作業があつてもよいのでは…。(保育I)
- ・休み時間が長すぎると感じられたので。(国語I)
- ・休み時間がけっこう長くあり、もう少し短縮できそうだから。(国語I)
- ・もう少しコンパクトになるのではないか。(国語I)
- ・半日くらいで十分だと思う。先生と話し合って、8時間は長い。(資料整理、テストの採点、等々があるのなら別。)(公I)
- ・そんなに内容がない。(数学I)
- ・半日で十分だと思う。(数学I)
- ・あまりやることがなかった。(数学I)
- ・それ以外に試験作成もあり、実質1日ではないので長く感じた。(英語I)
- ・1日もする事がないから。(音楽I)
- ・短時間の方が集中して考える。(生物I)
- ・話し合いやまとめや後片付けをしてもまだ時間が余っていた。作文やテスト作りは各自ができるのでその時間は省いて欲しい。(生物I)
- ・実際に8時間も指導を受けているわけではないので非現実的。(家庭I)

【II期】

- ・内容にあわせて、終わったら帰すようにしなければ、終わってひまな時間、ただ拘束されているよ

うな感じを受ける。(保体II)

- ・8時間も勤務しているわりに内容が少ない。(保体II)
- ・何もしない時間が多少あったので。(国語II)
- ・後輩へのメッセージは、レポートとしてまとめれば、登校しなくてもよいと思う。半日強で良いのでは？(国語II)
- ・作文など課題として提出できるものもあり、もっと短時間に収められる内容ではないでしょうか？(国語II)
- ・休憩時間が長く、それがなければ半日で十分すみそうな内容だと思う。(国語II)
- ・特にやることのない時間がある。(世II)
- ・空き時間が長いので、実際は半分くらいだと思った。(日II)
- ・実際の講評や反省会は、こんなに時間が長くはなく試験問題の作成も後日まとめるので、暇な時間がありすぎた。(日II)
- ・感想文を前もって書いてあったので。(数学II)
- ・無駄な時間が多。(英語II)
- ・短い時間で集中してやるべき。(英語II)
- ・1日もいらない。(音楽II)
- ・家でもできる。(音楽II)
- ・生物では「良い教師、授業」についての討議を行ったが、丸一日かける必要があるとは思えない。(生物II)
- ・授業を見るわけでもなく、する事があまり無い。反省会などは教育実習中にする事が出来た。(物理II)
- ・あまりやることが無かったからもう少し縮めてやっても良かったかもしれない。(物理II)
- ・人数が少なかったためか、反省、協議がそれほど長くはかかるないから。(家庭II)
- ・もっと短縮しても十分こなせる内容だから。(家庭II)

④ その他

【I期】

- ・事前指導と同じく、8時間拘束にはあまり意味がない気がするが、集中はする。(保体I)
- ・提示された内容をするのに8時間拘束されると思うと長いように感じるが、家に帰ってもだらだらするだけなので、一気に集中できて良かったのではないかと思うから。(保体I)

【II期】

(なし)

III—6 事後指導の内容について

① 役に立った内容とその理由

【I期】

- ・2週間の内容を振り返ることで、終わったことをやり流すことなく、感覚として留めておくことができたので、内容的にふさわしかった。(保育Ⅰ)
- ・2週間の実習の集大成ができるため、感想を書かせることは良いと思う。ただ、その量に関しては疑問である。(保育Ⅰ)
- ・自分が今まで経験し、感じてきた物事を、改めて文章化することにより、実習を体系的に捉えることができたのが良かった。また、少々安心して気が緩んでしまったが、指導してくださった先生方と和やかに話ができたのが嬉しい。(保育Ⅰ)
- ・ディスカッション。II期の人々の意見が聞けたので。(国語Ⅰ)
- ・部屋(準備室)の整理。いろいろ目にして面白かったので。(国語Ⅰ)
- ・後輩へのアドバイス。(国語Ⅰ)
- ・討論。友人たちの工夫点、反省点を聞くことができ、自分の課題点とその解決法を明らかにすることができた。(国語Ⅰ)
- ・後輩へのアドバイスをまとめたこと。自分の反省点を振り返ることができたし、先輩からのアドバイスは実際役に立ったから。(国語Ⅰ)
- ・II期の人などの話を聞くことができて、時間を置いたこともあり、冷静に実習を見直すことができた。(国語Ⅰ)
- ・ディスカッション。II期に同じクラスを受けもっていた教生とも話し合えたので。(国語Ⅰ)
- ・翌日なので反省がすぐできる。覚えていることがたくさんある。ちゃんと「まとめ」になる。(公Ⅰ)
- ・自分たちが実習して、そのことを報告しあったこと。生徒のことをまた違う角度からみることができてよかったです。(世Ⅰ)
- ・まとめのプリントを記入した。(公Ⅰ)
- ・指導教官の講評。実習全体のまとめとして、様々な視点から講評をいただいている参考になった。(日Ⅰ)
- ・討論。(数学Ⅰ)
- ・問題作成。色々考えたので勉強になった。自分が教えた内容を再確認出来た。(数学Ⅰ)
- ・教生同士で色々な話が出来たこと。実習したもの同士で振り返られた。一番役立ったし、充実していた。(英語Ⅰ)
- ・実習で行った授業の反省点を先生の過去の経験の話と結びつけて話してくださったので分かりやすかった。(音楽Ⅰ)

- 改めて実習を振り返れた。(音楽 I)
 - 実習によって良い教師と授業のあり方がどう変わったか、についての討議と講義(生物 I)
 - 教育実習のまとめ。何が良い教師でよい授業かを実際実習をしてみて考えが変わり、それについてみんなや先生と話し合えたから。(生物 I)
 - 理科教師のビデオ。先生の悩みが少し分かった。
- 『授業について考えよう』のプリント。自分の考えを文章にする事によって少しまとまつた。(物理 I)
- 教員(物理)のビデオが理科実験をする事の参考になった。(物理 I)
 - 中間試験の問題作成、採点。授業以外の先生の仕事が体験できて良かったと思う。(化学 I)
 - 自分の授業のビデオ自分で見たこと。普通なら見ることの出来ない自分の授業を生徒の立場から見ることが出来たから。(化学 I)
 - 中間テストを作ったこと。実際に自分達が教えたことを問題にして、採点をして、生徒の理解度を見ることが出来た。(化学 I)
 - 感想文を書いたこと。自分の中でピリオドを打った気持ちがした。(地学 I)
 - 2週間あっという間に過ぎていたけど、落ち着いて実習を振り返れた。(地学 I)
 - 出身で実習を行った学生とも同じだったので他の高校の話が聞けたこと。高校により様々なことがわかったから。(家庭 I)

【II期】

- テスト問題の作成。自分が教えた授業のまとめとも言える。テスト問題を作る難しさ(出題形式、点数配分など)がわかったし、クラスによって教える内容が違うとテストを作る時に厳しいということがわかった。(保育 II)
- 教師に必要なもの、保健体育教師に必要なものを書くことで、改めて言葉で考えることができた。(保育 II)
- テスト問題を作ったこと。テストを作ることの難しさを知ることができたから。(保育 II)
- ディスカッション。I期の人の話を聞けたのは良かった。(国語 II)
- 後輩へのアドバイス。自分も先輩のアドバイスを参考にしたので。(国語 II)
- 先生の授業を参観したこと。だいたいの授業の進め方を把握することができた。(国語 II)
- ディスカッション。まとめになった。(国語 II)
- 教職についての討論。他の教生の話を聞くことで、担当クラスの様子や教材が違うと、全く異なる対応が求められることがわかったから。(国語 II)
- 教職についての討論。教職について総括することができ、よかったです。(国語 II)
- 指導教官の講評と自己の反省。2週間のまとめとして自分の中での反省を整理できること、それに對して講評をいただけた。附属高校だけでなく他の高校などとも比較するなど、授業の後の反省会

とは違った視点で授業を考えさせられたと思う。(日II)

- ・全体の講評。前日まで実習だったので、その総まとめ的な講評があって、実習全体の総括が終了した感じがした。(前期に実習があった人にとってはやや時期が遅すぎるまとめかもしれない。)(日II)
- ・指導教官の講評。実習中の反省のときにもお言葉をいただいていたが、全体的に話してくださったので教育実習のまとめになったと思う。(日II)
- ・実習の反省をいくつかのテーマごとに行って、自分の考えをまとめられた。(世II)
- ・問題作成→自分のやった範囲のまとめが出来た。(数学II)
- ・課題作り。(数学II)
- ・実習が終わって、多くのことを得たつもりだったが漠然としていた。それを自分なりにまとめることが出来た。(英語II)
- ・教生の皆とレポートを通して色々な意見を交わすことが出来た。教育実習の意義を考える事が出来た。(英語II)
- ・教生同士で話し合ったこと。(英語II)
- ・自分の行った授業の指導案を元にテスト問題と解説を作成すること。(音楽II)
- ・自分にとって良いまとめとなり復習になった。(音楽II)
- ・教生全員の先生のあり方や考え方を知るいい機会だった。(生物II)
- ・実習したことによる授業や教師のあり方を討議したこと。(生物II)
- ・ビデオ(のらねこ会)が面白かった。今後に活かせそう。(物理II)
- ・物理教師の集まりのビデオを見たのだがそれが少し驚きの授業法でこんなこともできるとは!!という新鮮さがあった。オリジナリティの大切さ面白さを知った。(物理II)
- ・中間テストの問題作成、採点:実際に経験する事ができたから。(化学II)
- ・生徒の理解度が分かってよかった。(化学II)
- ・他の学校で実習した実習生の話を聞くことができたこと。(家庭II)

② 役に立たなかった内容とその理由

【I期】

- ・日誌もそうだが、同じ事を何度も書くのは意味がなく、時間と労力の無駄のように感じられる。(保体I)
- ・後輩へのメッセージは、この日までに仕上げられるものだから、そうしたほうがよいのではない。か。(国語I)
- ・アンケートが多かった。何度も同じ事を書かされた。(数学I)
- ・感想文→事前指導、教育実習のあとに感想文を書いたのでもう書かなくていいと思う。(数学I)
- ・アンケート→日誌に書いたようなことを又書かせているだけで、無駄だと思う。忘れてしまってい

ることも多いのでⅠ期だと辛い。(数学Ⅰ)

- ・教育実習を振り返ってのプリント。ディスカッション(教生同士の)の時間がとれたのは良かったが、プリントは曖昧な質問が多く幻滅もさせられた。(英語Ⅰ)
- ・事後指導中に試薬の整理をするのではなく実習中にして欲しかった。(生物Ⅰ)

【II期】

- ・事後指導というより、ただ書かせるだけという気がする。(保育Ⅱ)
- ・有り余る時間。時間単位で拘束する必要はどこにあるのか？(保育Ⅱ)
- ・研究室準備。体験しなくともどのようなものかわかっているから。(国語Ⅱ)
- ・前日にがんばって日誌を書いたので時間があまってしまった。(数学Ⅱ)
- ・感想文を書く時間。(数学Ⅱ)
- ・日誌の感想と、今日書いた感想文の違いがよくわからない。(数学Ⅱ)
- ・「教育実習を振り返って」のプリントとディスカッション。時間の浪費。反省文で書く内容と重複している。(英語Ⅱ)
- ・「教育実習を振り返って」のプリント。個人で書くものなのであえてこの指導に入れる必要がない。(英語Ⅱ)
- ・1日いるというその時間が無駄。最終日の勤務後に全教科まとめて行う方がよい。(音楽Ⅱ)
- ・各項目(良い教師、良い授業であげられた)について。一つ一つあまりに丁寧にやりすぎだと思う。話し合いや討議は良い事だが時間をとりすぎ。(生物Ⅱ)
- 封筒折り。教職とは何も関係ない。(生物Ⅱ)
- ・討議やそれ以外(雑用)のことで附属高校に8時間いた。テスト作成はそれ以外の時間に行ってるので、事後指導が8時間で終わるわけではない。(生物Ⅱ)

③ あつたほうが良い内容とその理由

【I期】

- ・生徒からの感想などをアンケートなどで見せてもらえると今後の参考になるので、ほしいなあと思いました。(保育Ⅰ)
- ・教科ごとの作業であるので、他教科の実習生、もしくは教官方がどう感じていらっしゃるのかが把握できない。全体としてのディスカッション等を用意していただけたらよかったです。(保育Ⅰ)
- ・テストの作成をこの時期に早くしてしまいたい。勝手かもしれないが卒業もかかっていて焦ります。(英語Ⅰ)
- ・事前・事後指導カードの書き方が分からなかった。8時間は講義？討議？参加？何処へ時数を何時間入れればよいのか？(地学Ⅰ)
- ・他教科との意見交換。(家庭Ⅰ)
- ・学生側の問題だが、ただ体験だけでなく教育や家庭科について話し合う場と姿勢が欲しかった。

(家庭 I)

【II期】

- ・全教科での報告会のようなもの。結局いつもいつも教科内でまとまっていて、みんなで交流するところがなかったように思うから。(保育 II)
- ・教官と私たちのディスカッション。授業の終わりにもいろいろ教えていただいたが、最後にまとめとして、言葉や評価、反省点を教えていただきたかった。(保育 II)
- ・自分の行った授業を生徒はどのように思ったのかなどを知ることができればよかったです。(保育 II)
- ・他の教科とのディスカッション。つねに同じ教科で情報が回っていたので。(国語 II)
- ・生徒の感想をもとに話合う。(世 II)
- ・先生方のアドバイスが聞きたかった。(英語 II)
- ・テストの作成が課されているのでこの時間内に終わらせられるのなら終わらせた方が良いのでは。(英語 II)
- ・期末テストの作成は事後指導に取り入れて欲しい。(英語 II)
- ・理科の他教科ではテストの製作を手伝わせていただけたと聞いたので私もやりたかった。授業中反応が薄くとんちんかんな質問が出たりしていたのでどのくらい分かってくれているのか知りたかった。(物理 II)
- ・生徒が実習生をどのように捕らえているのか、高校によっても異なる様子だったので、そこについてもっと話し合いの時間が欲しい。(家庭 II)
- ・実習中にした授業のその後の生徒の反応があれば聞いてみたかった。どのように受け止められたかを知りたいから。(家庭 II)
- ・生徒の感想を聞きたかった。(家庭 II)

(5) アンケート調査集計結果 (教官)

2001年10月実施、回答総数21

I 事前指導について

I-1 事前指導の時期（6月）について

- ① 良い ② 悪い ③ その他

良い	悪い	その他	無記入
20		1	1

- 理由 ① • 2～3週間前でよい。学生のレディネス等。
- その指導に基づき十分な指導ができるから。
 - 妥当な時期だと思う。
 - あまりよくもないが、その他によい時期もない。(2)
 - 比較的授業が平常に行われている。
 - 4月はちょっとばたばたします。3月や2月は可能か。
 - 体育祭が終わって授業内容が通常に戻っているので不都合がない。
- ③ • 本学には地学専攻の学生がいないため、今年度から一日野外にてて、地層の観察・化石の観察・採集を行って事前指導とした。このやり方だと5月でもよい。(あまり直前でない方がよいこともある。)

I—2 事前指導の勤務形態は（延べ日数で集計）

① 2日 ② 3日 ③ 4日 ④ 5日 ⑤ 不明

2日	3日	4日	5日	不明
11	4	2	3	1

I—3 I—2 の勤務の形態の決め方は

① 教官の提案 ② 実習生の希望 ③ 教官と実習生の話し合い ④ その他(具体的に)

教官の提案	実習生の希望	話し合い	その他
18		2	2

I—4 I—2 の勤務形態について

① 良い ② 悪い ③ その他

良い	悪い	その他
20		2

- 理由 ① • 見せたい授業を中心に勤務時間帯を決定できる。
- 参観が効率よくできるのでよい。
 - いろいろな授業（実験等）の参観ができる。教官の授業の空き時間を利用して指導できる。
 - 仕方がない。

I—5 I—2 の勤務形態は今年度から、半日単位から時間単位でも良いことにしましたが、この方法について

① 良い ② 悪い ③ その他

良い	悪い	その他
19		3

- 理由 ①
- ・参観が効率よくできるのでよい。
 - ・時間の使い方が自由な方が指導しやすいので。
 - ・双方の都合に合わせて柔軟に対応できる。
 - ・自由度が増えた方がよいかから。
 - ・2日16時間目いっぱい作業をさせることはかなり無理があるが、分散させれば、観察にしろ作業にしろ、以前（2日になる前）と同じ程度実施できる。
 - ・実質的。
 - ・見せたい授業とその他の実習準備を効率よく行うためには、自由度が高い方がよい。
 - ・科によって事情があると思われる。
 - ・指導案の作成は直前がいい。
- ②
- ・今年度試してやってみたが、実際に地層・化石を観察したことのない学生にとっては、实物に触れてよかったのではないかと思う。（もう一回ぐらい行った方がよいかかもしれない。）つまりまとめてやった方がよいが、時間単位が悪いわけではない。

I—6 事前指導の期間（2日間—16時間分）について

- ① ちょうど良い ② 短い ③ 長い ④ その他

良い	短い	長い	その他
14	3	3	2

- 理由 ①
- ・指導案の説明、自作等に必要。
 - ・3教官の授業を観察させられる。（体育・保健の2分野も）
 - ・副校長先生の講義等、入れていただくとよいかも。（学級経営、授業システム、教育心理、etc）
- ②
- ・実習の準備の時間が不足。実際に2日間以外にも実習の準備のために時間を使ったので。
 - ・あまり長くともこちらが困るが、少し短く感じる。あと1日くらいあってもよい。
 - ・事後を0.5程度にするなら、事前2.5でもよい。
 - ・学生に地学の知識（高校で地学をとっていないこともある）がほとんどないので、もっと長くてよい。
- ③
- ・ほとんど効果がないので短くてよい。
 - ・個別指導中心のため。

- ④ ・なんと答えたらよいか分かりませんが、実際に実習が始まるまで、このあと4～5回
教生に来校させ、時間をかけて指導しなければなりません。

I-7 事前指導で行った内容は（授業参観は除く）

- ・打ち合わせ、答案調査
- ・答案調査、指導案作成
- ・指導案について、答案調査など
- ・実習の内容説明、講義、模擬授業とその研究協議など
- ・教材（指導案）の打ち合わせ
- ・指導案作成、試験問題の作成・採点、短ナワトビ集計、保健管理調査票の整理
- ・確認事項（日数・日程・観察・参加・講義・討議・提出物・事後指導内容）
- ・実習で担当する分野（テーマ）についての説明、事前課題の説明
- ・指導案の再構築、課題作文
- ・討議、講義、テスト採点、提出物のチェック
- ・デモ授業VTR視聴
- ・事前打ち合わせ
- ・指導案の試作・最終確認
- ・指導案作成、教材研究
- ・講義、討議、学力テスト採点、解答調査（まちがい例など）
- ・実習の準備、実験機器・器具の整備、担任の手伝い（銀行に行くなど）
- ・模擬授業とその研究協議、実験室および準備室の整備
- ・指導案作成、定期テストの問題作成・採点、顕微鏡の点検整備、VTRテープの内容リスト作り、
薬品の整理・リスト作り、「よい教師・よい授業」について討議
- ・実習で授業を行う範囲の確認・教材準備、野外に出て、実際に地層や化石の観察
- ・実習生の授業準備、調理・被服実習の施設・設備の実際の使い方が主

II 事後指導について

II-1 事後指導の時期について

- ① 良い ② 悪い ③ その他

良い	悪い	その他	無記入
18	1	2	1

- 理由 ① ・実習直後に行ったので、印象がうすれず、いろいろな話、反省ができた。
・無理なくやれた。（ない方が良いけれど）

- ・変えたい時期なし。
 - ・他にないでしょう。
- ③ ④ II期は良いが、I期は期間が短すぎる。
- ・ここしか実施できないから、良いも悪いもなし。

II-2 事後指導の勤務形態は

- ① 1日単位で勤務 ② 半日単位で分割して勤務
 ③ 時間単位で分割 ④ その他（具体的に）

1日単位	半日単位	時間単位	その他
17	3	1	

II-3 II-2 の勤務の形態の決め方は

- ① 教官の提案 ② 実習生の希望 ③ 教官と実習生の話し合い ④ その他（具体的に）

教官の提案	実習生の希望	話し合い	その他
18		2	2

II-4 II-2 の勤務形態について

- ① 良い ② 悪い ③ その他

良い	悪い	その他
17		5

- 理由 ① ② 全員の教育実習の発表会を一日かけてしている。
 ・集中して話し合いができた。
 ・テストの採点は中間テストが終わらないとできないので。
 ・特別にやることがないので、1日は持たない。
 ③ ④ あまり良くないので考える余地がありそう。（1日単位で勤務）
 ・ある意味しかたがないといえる。こちらがはりつく時間もないし、2日に分けたりしたからと言って、実があがるとは思えない。
 ・よくもないが、分割がいいとも思えない。

II-5 II-2 の勤務形態は今年度から、半日単位から時間単位でも良いことにしましたが、この方法について

- ① 良い ② 悪い ③ その他

良い	悪い	その他
20	1	1

- 理由 ①
- ・科によりいろいろ事情があるようなので。
 - ・自由度が高い方がよりよい形態が選びやすい。
 - ・双方の都合にあわせて柔軟に対応できる。
 - ・希望される方があるならよいと思う。
 - ・分割する自由は確保しておく方がよい。私としては1回で終わらせたいが。
 - ・国語は1日で終わらせたが、分割できる可能性はある方がよい。
 - ・事後指導が空洞化していることもあるので。

II-6 事後指導の勤務（1日—8時間）について

- ① ちょうど良い ② 短い ③ 長い ④ その他

良い	短い	長い	無記入
9		10	3

- 理由 ③
- ・半日ぐらいでよい。
 - ・半日程度で充分。
 - ・事後指導は、事前指導と違ってできることがあまりないので、どちらかといえば事前指導の時間を増やし、事後指導は減らす方向ではどうか。あるいは事前・事後指導両方で○日or△時間とし、比率はこちらで適宜、決められるというはどうか。
 - ・こちらも授業しながらですので、一日勤務していても実際に指導できるのはがんばっても半日ぐらいになります。実態にあわせた時間数の方がよいのでは。
 - ・相手をしきれない。6時間でよい。
 - ・実質的には9—16時でこなせそう。
 - ・ほとんど効果がないので、短くてよい。
 - ・ディスカッション、まとめの文章書きは短時間で終わってしまう。
- ④
- ・必要ない。
 - ・やはり何か共同で講義などがあると助かります。

II-7 事後指導の内容は

- ・後輩へのメッセージ（作文）、準備室整理、教職についてのディスカッション
- ・教材室の資料整理、実習に関する討議、実習をおえての反省会
- ・討議、問題作成、レポート、研究室整備
- ・反省（指導教官の講評、実習生の反省、討論）、テスト問題の作成

- ・反省、討議、作問など
- ・実習のふりかえりとまとめ
- ・実習を振り返っての反省記録、準備室・用具室の整備
- ・総務から出されたアンケート、保体科から出した教育実習まとめのプリント、テスト問題の作成
- ・「授業を終えて」レポートのまとめ（討議を含む）、保健科に関する試験問題作成（後期のみ）
- ・作文、反省、評価づくり（テスト）
- ・討論、レポート、準備室の整理
- ・反省会、ディスカッション
- ・ディスカッション
- ・討議、協議、答案調査、テスト問題作成
- ・これまでの反省（アンケート調査の記入）、問題の作成
- ・感想文作成、事後の事務的処理
- ・実習の反省をまとめる、レポートを見る、教育関係テレビ番組のビデオを見る、総合的な討論
- ・実習ビデオの参観、教材プリントの整理、中間テストの作成と採点
- ・授業をしてみて改めて「よい教師、よい授業」についてのディスカッション、試験問題の作成
- ・実習の反省（内容、授業の進め方など）、感想など、「人に教える」ということについて意見・感想を聞く
- ・Ⅰ期：出身校・協力校にいった人も交えて30人ぐらいで実習のまとめとして発表会
- ・Ⅱ期：輝鏡祭と重なるためと10人未満という人数のため、教室の片づけなどの雑務が多くなり不評

III 教育実習全体についてご意見があれば

- ・事前・事後指導については、1単位分の大学の授業時間を設け、高校の教官が指導し、観察・参加も含めて、もっと系統立ててきちんと指導できる形を作つてほしい。学部1講座がのぞましいが、全体1講座で部分的に各学部に分かれてもよい。今のように高校の授業や勤務と重ねてというのはすっきりしない。
 - ・事前・事後指導の時間配分に関して、もう少し柔軟にできればと思う。また、事後指導の内容については、来年以降考え直す必要があると感じている。（科の中でということ）
 - ・当人の専攻が世界史ではないことが多く、基礎的な知識がないことが原因で、とても指導に手間がかかります。
- （付：後期初日にヘソ出しの上着で出勤している学生がいて注意した。担当教員も注意したことと思いますが、こういうことにも実習に向けての学生の姿勢が現れていると思う）
- ・地学は専攻している学生がいないため地学以外の学科の学生さんが教生としてやってくる。しか

もこの中には高校で地学をとっていない学生さんも多い（中学校の第2分野で学習したところまでで、この点では高1の生徒と同じレベル）。したがって実習をするためには、基本的なことがから始める必要があり、授業も一本調子にならざるを得ない。今後地学で実習を行う場合、できるだけ高校の地学を学習してきた学生さんに来てもらうのも一法かもしれない。（専攻以外の分野でも実習ができなければならぬはずだが、学生によっては無理だと判断せざるを得ない場合もあるので）

- ・実習生1人あたりの実習時間を増やしてあげたいが、人数とのからみで、どうにもなりませぬ。
- ・指導案の書き方などは大学の講義でやっているはずなのに、あまり理解されずに実習に来ますねエ。
- ・（事前）事後指導はあまり効果なし。
- ・実習生の着任・離任の式は必要ないと思う。個々の授業のはじめに担当の教員が紹介する形でよい。
- ・事後指導の表の書き方のサンプルがあった方がよい。（何を何時間と書くべきか、8時間にするべきかなど）
- ・他教科も含めて、勤務時の服装がカジュアルすぎないか？（教生が会社訪問を期間中にすることがあるが、見違えてしまう）帶出した書籍のページを折り曲げたり書き込みをしたりするものが、今年に限らずいて非常識。このような最小限の「躊躇」は誰がいつどのようにしたらよいのか。
- ・今年度は後期の実習がなかったが、こんな楽なことはなかった。来年から前・後期2名ぐらいずつにできるといいなと思います。なんといっても実習生の授業を全部見なければならないのが大変です。
- ・来れば、それなりにやります。
- ・教員志望の実習生が少ないので、こちらとしてもあまりやる気がでない。
- ・扇風機も蚊取り線香もない体育準備室で、汗・蚊と戦いながら、指導案作成に励む彼女たちの姿を少し気の毒な思いで見ていました。来年度扇風機余っていたら1台取り付けたいなあーと思いました。

(6) 考察（教育実習アンケート集計〔実習生・教官%〕・グラフ）

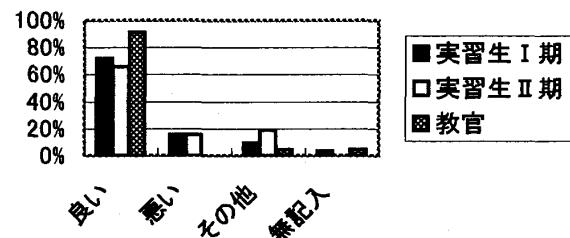
I 事前指導

I-1 事前指導の時期

I-1 事前指導の時期

	良い	悪い	その他	無記入
実習生Ⅰ期	72%	16%	9%	3%
実習生Ⅱ期	66%	16%	19%	0%
教官	91%	0%	5%	5%

I-1 事前指導の時期



教官は消去法も含め、ほとんど他の時期は考えていない。

学生は、Ⅰ期は「実習との間隔がちょうどよい」が大部分だが、「もう少し早くして実習までに余裕がほしい」と「もっと直前に」の両方がある。Ⅱ期は「実習までゆっくり準備できてよかったです」と「間が空きすぎた」の両方の意見があった。

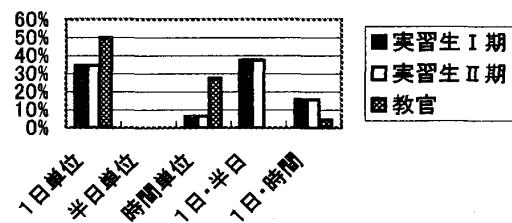
理学部の学生が、Ⅰ期・Ⅱ期とも、大学院入試の関係で、「全ての日程をもっと前に」というのがあるが、以前と比較すると大学院入試日程はかなり改善が見られている。

I-2～5 事前指導の勤務形態・期間について

I-2 事前指導の勤務形態

	1日単位	半日単位	時間単位	1日・半日	1日・時間	半日・時間	*1日・半日・時間
実習生Ⅰ期	34%	0%	6%	38%	16%	3%	3%
実習生Ⅱ期	34%	0%	6%	38%	16%	3%	3%
教官	50%	0%	27%	0%	5%	14%	5%

I-2 事前指導の勤務形態

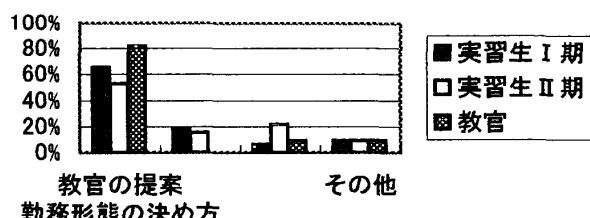


* 1 日・半日・時間

I-3 勤務形態の決め方

	*1 教官の提案	*2 実習生の希望	話し合い	その他
実習生Ⅰ期	66%	19%	6%	9%
実習生Ⅱ期	53%	16%	22%	9%
教官	82%	0%	9%	9%

I-3 勤務形態の決め方



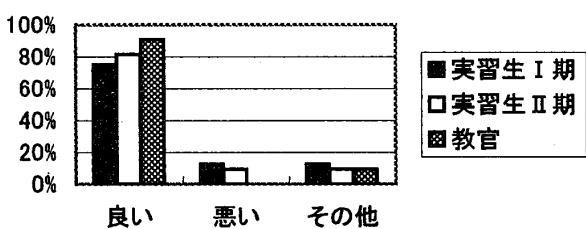
* 1 教室の提案

* 2 実習生の希望

I-4 2の勤務形態について

	良い	悪い	その他
実習生Ⅰ期	75%	13%	13%
実習生Ⅱ期	81%	9%	9%
教官	91%	0%	9%

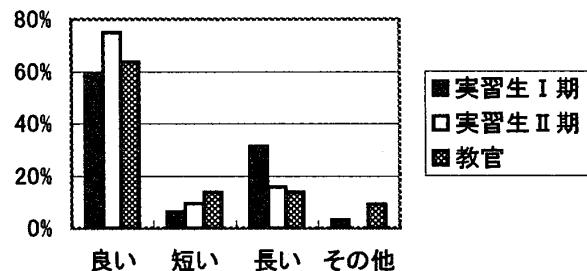
I-4 2の勤務形態について



I-5 事前指導の期間

	良い	短い	長い	その他
実習生Ⅰ期	59%	6%	31%	3%
実習生Ⅱ期	75%	9%	16%	0%
教官	64%	14%	14%	9%

I-5 事前指導の期間



従来の1日・半日単位の勤務から、今年度は時間単位の勤務も認め、事前指導（事後指導も）に柔軟性を持たせたが、全体の1/3がこの時間単位の勤務形態を採用した。決め方はほとんどが教師の提案によるものだが、それに幾分か学生の希望が加味されている。柔軟性・自由度があることについては、教官は評価しているが、学生は個人の都合から評価は様々である。学生が形態の善し悪し・期間の長さをどう思うかについては、教官の指導の内容によるところが大きいようである。時間に対して指導が少なく、時間を持ってあましているようだと、「長すぎる」となっている。一方で「もう少し時間をかけて1つの単元を通して観察したかった」という積極的な意見も見られた。

I-6 事前指導の内容

① 役に立った内容

ほとんどが授業参観を挙げている。学習環境・生徒の実態の把握、授業への心構えができる、指導方法を学べるなどの理由を挙げている。それに続いて、模擬授業、指導案の作成などが多くあがっている。

② 役に立たなかった内容

ロングホームルームの参観、クラブ活動の参観、資料整理など。学生が実習を行うに当たってよい授業をするために直接必要がないと思われる内容については冷淡である。

③ あつた方がよい内容

教案の作り方・書き方・黒板の使い方などの具体的な指導法、模擬授業、教室の教壇側からの授業参観、中学校の授業参観、観察記録の返却と教官のコメントなどがあがっており、よりよい授業をするための具体的な内容を求めている。

また、クラスの1日の流れの観察、ホームルーム観察、ホームルームでの実習生の自己紹介、クラブ活動・委員会活動の観察、本校の教育方針・カリキュラムの説明など、学校や生徒の動きを全体としてとらえられるような内容も求められている。

一方、担任業務、校務分掌、試験問題の作成・レポートの整理・研究室の整備・資料整理等の授業では見えない教科の仕事など、授業以外で教師がしている仕事にはほとんど興味が示されていない。教師の仕事の全体像について、指導する機会が必要ではないかと思われる。

II 実習

II-1 授業時数

必ずしも授業時数が多かった人が「やや多い」とは言っていない。授業の準備に時間がかかり、「やや多い」というのが多い。「やや不足」と答えたのはやはり時間数の少ない人である。40分授業が短く、「時間不足」という意見もある。

II-2 実習の時期

時期が「悪い」としているのは、Ⅰ期に多く、これは今年度の7月の猛暑が影響しており、教室・控え室・教官室とも冷房設備もない中での実習は、生徒・実習生・教官皆にとって過酷なものである。

Ⅱ期では、就職活動・教員採用試験・大学院入試・卒業研究など様々な個人的都合で「もっと早い時期にやりたい」が多い。理学部大学院入試との関連についてはここでも改善を求める意見がでている。

II-3 勤務時間

本校の教育実習生の勤務時間は8:00~16:00と大学生の生活時間からすると朝がかなり早い時間になっているが、「朝は早いが夕方もその分早く終わるので、帰宅後翌日の教案の準備ができる」という意見が多かった。「悪い」の理由としては、「授業終了後の時間が無駄」という意見があるが、授業時間以外に教師は様々な仕事をこなしている現実が実習生に伝わっていない、またはそういう仕事に触れる機会がないことによるものようであり、指導内容の検討が必要であろう。

また、理学部の実習生の一部が、「実習終了後の時間に研究室の勤務もしており、両方で大変なので、勤務時間を短くしてほしい。または夏休みに研究室に行かせてほしい」といっている。大学の指導教官が教育実習をどのように位置づけているのか、認識を変えていただきたいところである。

II-4 勤務について印象に残ることや希望

例年実習期間中は夏休み前後の暑い時期であるが、特に今年度のⅠ期の期間中は記録的な猛暑で

あったため、Ⅰ期の実習生は実習環境の過酷さを挙げているものが最も多かった。冷房設備の設置を望む声が高い。特に控え室の合併室は、普通教室に収まらない大人数の授業のために定期的に使われており、その都度実習生は移動させられ、また事前・事後指導中は放課後は音楽系のクラブが活動場所として同居しており、パソコンなども使えるきちんとした専用の控え室を望む声が強い。しかし、教室や部屋の不足は、選択授業の拡大などで慢性的な状況である。教育実習生が勤務していない時期でも、コンピュータ室・部室・進路指導室などがすでに不足の状態で、附属高校校舎の改築または増築がない限り、改善は望めない。

また、本校では実習生をホームルームに配属していない。そのため実習生と生徒が直接ふれあう機会が少ない。このことを残念に思う実習生も多い。教師としての仕事の全体像を学ぶにはこの点の対策が必要かと思われる。

その他、「ダンスコンクールに感動した」、「台風で休校になったのが印象的」などがあがっていた。

II—5 実習前のイメージと現実

どういう訳か、実習生には「附属高校の生徒は怖い」、「いじめられる」などというイメージが先入観になっていたり、先輩から言い伝えられているようであるが、実際接してみると、「思ったより協力的」、「怖くなかった」、「よく反応してくれる」などと印象が変わらるようである。

また、授業は「何とかなるだろう」から「準備はいくらしてもしすぎることはない」、「授業はなかなか思い通りにはできない」と実際の授業の難しさを痛感し、授業に対する「生徒の視線」と「教師の視線」のちがいも実感するようである。

II—6 教育実習はどうあるべきか・来年の実習生に一言

以上のような、今までの大学生活にない自分と向き合う実習を経験した実習生の「来年の実習生に一言」は、重みがあり、下級生に伝える機会を是非作るべきであると感じる。以下に何人かの一言を拾ってみる。

- 実習生が授業のために一生懸命努力し、取り組む様子は必ずお茶高の生徒に伝わるはず。逆にいい加減な態度で取り組むと生徒はそれを素早く察知し、態度に表すと思う。2週間精一杯生徒と向き合い、熱心に授業に取り組んでください。
- 指導教官のサポートはあつい。教生仲間とは教材研究の討論を通じて素でぶつかれる関係になる。周りの支えはすごく大きい。でも壁にぶつかった時に一步踏み出せるかは自分の気持ちしだい。頑張って下さい。
- 体力には責任を持つこと。自分を成長させたい、生徒にわかってもらいたいという気持ちがあれば「やって良かった。」と思えるはず。

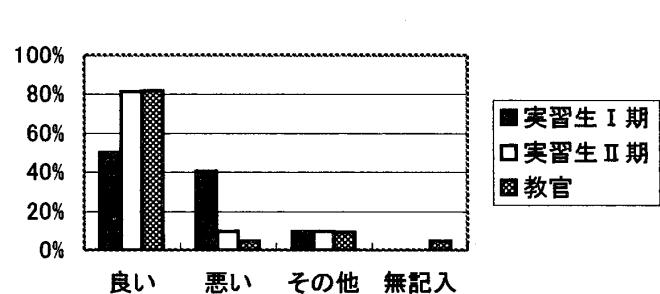
- ◎ 今の受験制度・実際どんな授業が楽しいのかということを考えると、様々な葛藤があるけれど、どんな授業展開をするにせよ、自分がやれるところまで全てやりきったと思えるまできちんと考えておけば、生徒は必ず反応を見せます。頑張って下さい。
- ◎ 何を教えたいかということを常に念頭に置いて、万全といえるくらいまで準備をすることが第一かと思います。その上で、体験として実際の授業で反省点を見つけて改善していくよう努力するのが教育実習のあり方かと思います。自分がわかる2週間だと思います。
- ◎ 準備には「早すぎる」「しすぎる」ということはありません。実習といっても生徒たちの貴重な時間で授業するのだということは忘れない方がいいと思います。
- ◎ 2週間の間は教師という職業についていたのだと思って、他の事は置いておいて、高校生と向き合ってみるべきだと思う。
- ◎ 実習生の立場として、自分が教官の皆様、生徒方の胸をお借りして、この実習に望んでいるのだという気持ちを忘れずに。あくまでも謙虚で誠実に。しかし担当する授業ではどんどんアグレッシブに、色々挑戦していくべきだ。それから、ここでの経験が全てだとは思わず、自己満足で終わらせてほしくないと思う。

III 事後指導

III-1 事後指導の時期

	良い	悪い	その他	無記入
実習生Ⅰ期	50%	41%	9%	0%
実習生Ⅱ期	81%	9%	9%	0%
教官	82%	5%	9%	5%

III-1 事後指導の時期



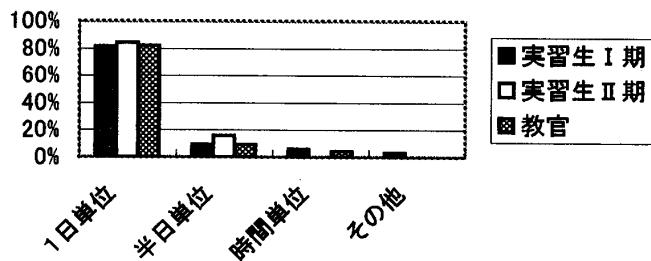
事後指導はⅠ期・Ⅱ期それぞれの実習後に日程が設定されているが、教科・科目によってⅠ期・Ⅱ期分けて実施しているところと、Ⅱ期終了後にまとめて実施しているところがある。「Ⅰ期・Ⅱ期の実習生相互の情報交換ができる」、「同じ内容を一括して指導できる」など実習生・教官双方にとって利点があるが、Ⅰ期の実習生には「実習終了後事後指導までに時間がたちすぎている」という意見も多い。逆にⅡ期の実習生は「実習終了直後で反省しやすい」がほとんどだった。

III-2～5 事後指導の勤務形態・期間について

III-2 事後指導の勤務形態

	1日単位	半日単位	時間単位	その他
実習生Ⅰ期	81%	9%	6%	3%
実習生Ⅱ期	84%	16%	0%	
教官	82%	9%	5%	0%

III-2 事後指導の勤務形態



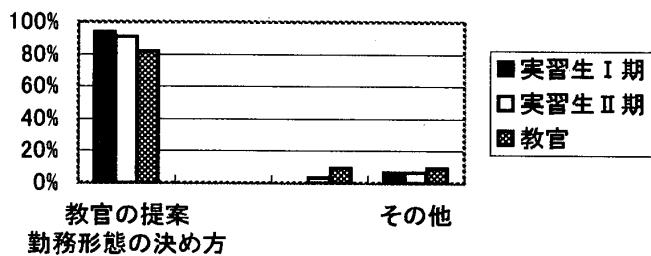
III-3 勤務形態の決め方

	*1 教官の提案	*2 実習生の希望	話し合い	その他
実習生Ⅰ期	94%	0%	0%	6%
実習生Ⅱ期	91%	0%	3%	6%
教官	82%	0%	9%	9%

* 1 教官の提案

* 2 実習生の希望

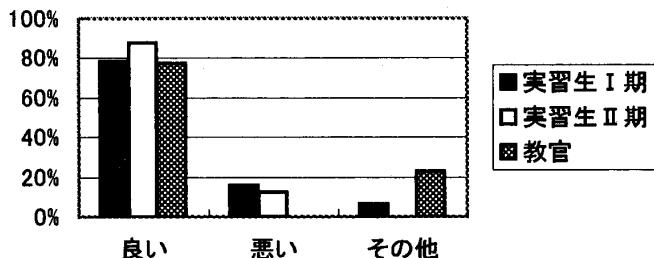
III-3 勤務形態の決め方



III-4 2の勤務形態について

	良い	悪い	その他
実習生Ⅰ期	78%	16%	6%
実習生Ⅱ期	88%	13%	0%
教官	77%	0%	23%

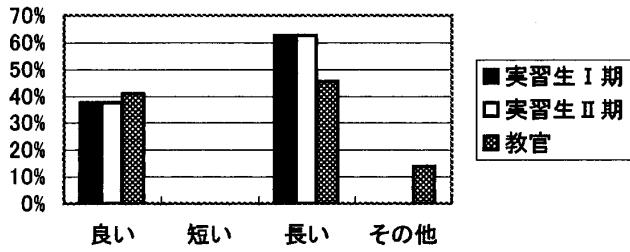
III-4 2の勤務形態について



III-5 事後指導の勤務(1日8時間)について

	良い	短い	長い	その他
実習生Ⅰ期	38%	0%	63%	0%
実習生Ⅱ期	38%	0%	63%	0%
教官	41%	0%	45%	14%

III-5 事後指導の勤務(1日8時間)について



事後指導の勤務形態については、事前指導ほど半日単位や時間単位に分割したところは少なく、実習生は「1日で集中してできて良かった」という意見が大部分である。逆に分割したところは「何日も来なければならなくて負担だった」と言っている。

事後指導の期間（現行では附属高校で1日）については、今回の調査の中で最も「良い」という回答の割合が低く、実習生・教官とも「長い」が半数を超えており、「長い」という理由としては、実習生は「1日かけるには内容が少なく時間の無駄」、「課題など家でできるものは勤務してやる必

要はない」などである。また教官は「授業しながらでは1日は指導しきれない」、「実習が終わったあとでは与える内容がない」、「効果がない」などである。早急な見直しが必要であろう。

III—6 事後指導の内容

① 役に立った内容

まとめの記述、教官の講評、実習生同士または実習生と教官のディスカッション、テスト問題の作成と採点等があがっている。

② 役に立たなかった内容

「まとめの記述やアンケートなど書くことが多かった」、「重複して書くことが多かった」、さらに、「研究室の整備」など雑用があがっている。

③ あつた方がよい内容

「生徒の感想や生徒が実習生の授業をどのように受けとめ評価していたのか知りたい」が最も多い。これは当然のことといえる。テスト作成も授業の評価を知る方法として希望がある。ついで「実習生全体のディスカッション・実習生全体と教官のディスカッション、報告会」があがっている。これは教育実習の全ての流れが教科・科目ごとになっているためで、他の教科や科目の様子が知りたい、他教科の教官がどう評価しているか知りたいという積極的な意見であった。

IV まとめ

IV—1 事前指導・実習・事後指導の全体としてのまとめ

内容的には、事前指導で実習の準備をし、本番の実習でそれを授業として実践し、事後指導で実習を反省・総括することで1つのまとめとなっていることは評価されている。一方現行の日程では、I期の一部の実習生にはII期の教育実習生と合同で行うことから事後指導が遅く、II期の実習生には事前指導が早く、連續性がない事が指摘されているが、夏休みをはさんで2回の実習を行わなければ、教員免許状取得希望者を収容しきれない現実、また実習生にも2回の実習があることで時期の選択の自由があることが評価されていることから、この点について改善することは不可能である。内容の充実で補う他はない。

また、事前指導の期間と実習の期間の間に、実習に向けての実質的な指導案作成の指導が各教科で行われており、実習生からはこの時間を事前指導としてカウントできないかとの要望がでている。もっともな要望であり、教官側としても望むところである。

IV—2 その他

その他のところの記述を箇条書きでまとめてみた。複数あった意見はその数を後ろの（ ）内に示した。前半は肯定的なもの、後半は否定的な内容に分けた。

- ◎ 貴重な体験だった（8）
- ◎ 楽しかった・おもしろかった・印象深い（8）
- ◎ 授業の難しさが良く分かった（6）
- ◎ 勉強になった（4）
- ◎ 充実感・達成感があった（3）
- ◎ 生徒と教師の人間関係の重要さを実感（3）
- ◎ 適正が判断できた
- ◎ 精神力を求められた
- ◎ 先生は「仕事」だった
- ◎ 指導教官に感謝（5）
- ◎ 生徒が素直・反応がよい・協力に感謝（3）
- ◎ ダンスコンクールに感動（3）
- ◎ お茶高がアットホームな雰囲気で良かった
- ◎ 農場実習が楽しかった

- ◎ 暑かった（5）
- ◎ 控え室がよくない・クーラーがほしい（4）
- ◎ 生徒指導があまりできなかつたのが残念（4）
- ◎ 実習生担当の授業とそうでないのがわからなかつた
- ◎ 教官の生徒指導が甘い（3）
- ◎ 教官により実習生の指導にばらつきがあった（2）

(7) 今後の教育実習のあり方について

I 事前指導・実習・事後指導の時期と期間

I-1 事前指導・実習・事後指導の流れ

事前指導	→	I期実習	→	夏休み	→	II期実習	→	事後指導
2.5日		3週間		7週間		3週間		1日

平成15年度より、中学校免許状取得希望者に対する実習の単位数が現行の2単位から4単位に増加することに伴って、高等学校の実習期間もI期・II期とも2週間から3週間に延長する事をすでに決めている。各都道府県の教員採用試験が中学・高校両方の免許状を取得していることを受験資格としているところが主流となり、大学としても以前以上に中学・高校両方の免許状を取得するよう指導していきたいとの意向を受け、高校でも両方の免許状取得希望者の実習を受け入れられるようにするための措置である。この変更に伴って、現在I期終了後においている事後指導の期間はな

くし、事後指導は全てII期終了後にまとめて置かれることになっている。今回の調査にも現れていったが、一部のI期の実習生にとって事前指導の時期は良いが事後指導が実習と離れすぎる、逆にII期の実習生にとっては事後指導の時期はよいが事前指導が実習と離れすぎるという不都合がさらに大きくなる。しかし、実習を2回行わざるをえない大学側の事情と、平成14年度から完全週休2日制が実施され、生徒の学力低下を招かないよう、授業時間を確保しなければならない高校側の事情の間で、解消することは不可能と考えている。また、現在まで実習中の授業時間を40分としてきたが、40分は短く不十分であるという実習生の希望と、授業時数をなるべく多く確保したいという高校の希望が一致し、平成14年度からは授業時間を45分に変更することにした。しかし、教育実習生の勤務時間は変更しないので、放課後の指導教官と実習生のディスカッションの時間が短くなり、さらに効率よい指導が必要になる。

事前・事後指導の期間については、事後指導の期間が長すぎる、実習が終了したあと適当な指導の内容がないなどの意見が、実習生・教官の両方から出されている。事後指導の0.5日程度を事前指導に移動可能なシステムにするとか、教科指導を離れ、全体指導を取り入れるなどの改良が必要である。さらに事前指導・事後指導とも柔軟な時間の運用が効率的であろう。

II 事前指導・実習・事後指導の指導内容

II-1 教科教育法と事前指導の関係

教科教育法を担当している附属教官が多い利点を生かし、指導案の書き方・指導の技術など教科教育法で扱うか、事前指導の中で扱うか、漏れのないよう、棲み分けをきちんとしておくことで有効な指導となるであろう。

II-2 教科内指導と教科間指導

現在行われている附属高校での指導はほとんどが実習生の所属する教科ごとの指導になっているが、事後指導の全体報告会のようななかたちで他教科との交流や情報交換を取り入れることが有効であろう。実習生が指摘する指導教官による指導のばらつきも幾分か平均化することができるだろう。

II-3 教科指導と生徒指導

教育実習生の人数が多いことなどから、現在実習生をホームルームに配属する事をしていないが、生徒指導は教師としての仕事の全体像を学ぶのに必要なことで、短い期間でもホームルーム担任、委員会・クラブ活動の指導を経験させる工夫が必要であろう。生徒との交流を多くの実習生が希望している。

II-4 教師の仕事の全体像

教科指導・生徒指導の他にも、校務分掌など、教師の分担している仕事がある。これらがどのようなものか、校長・副校長・教務部長・指導部長など、学校全体の管理的立場にある教官の講義な

どを行う機会を作ることが有効な指導になりうるだろう。

III その他

III-1 施設・設備

夏休みを挟んだ1年で最も暑い時期に冷房設備のない教室で授業をし、控え室で準備をしなければならない実習環境は劣悪である。実習生の中にはこのことについて文部科学省や大学当局を鋭く批判しているものもある。前述のように、高校内の努力だけでは専用の控え室を用意することは困難である。せめて冷房設備の設置を大学に要求する。

また、パソコン・コピー機・印刷機など授業準備に必要な機器を実習生が使いやすいかたちで整備することも急務であろう。

III-2 大学との関係

アンケートの結果から大学関係の事柄を拾うと次の様なことがある。

実習期間中は大学の授業を休むことを大学教官は承知しているが、事前・事後指導についても大学の授業が欠けるという事を承知していない教官がいるとの実習生の指摘があった。

また、理学部実習生の一部が実習期間中に実習勤務終了後に研究室に戻り、卒業研究に取り組み、そのために実習が大変窮屈であったと言っている。勤務時間以外をどう使うかは実習生の自由であるし、これが学生の自発的な行動なのか、大学教官の指導なのかは明らかではないが、考えていただきたい問題である。さらに理学部の大学院入試日程は以前と比較するとかなり改善されているが、実習期間との関係を問題視している実習生がいるのも事実である。

今年度もⅠ期・Ⅱ期併せて延べ16人の大学教官が実習生の授業参観のため、附属高校を訪れてくださっている。今後共よりよい連携関係を作る双方の努力が必要であろう。